



瀬戸内海国立公園
指定80周年記念
パートナーシップイベント

第3回エコツーリズムフォーラム 2014

Ecotourism Forum third 2014

～瀬戸内海国立公園指定80周年を迎えて～

瀬戸内海の活性化に向けた新たな展開 ...
エコツーリズムの果たす役割

2014年3月8日(土) 13:00 - 16:30

リージャスひろしまハイビル21(広島市中区銀山町3-1)

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会

構成：広島県、呉市、廿日市市、(一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会

後援：環境省中国四国地方環境事務所、EPOちゅうごく[環境省中国環境パートナーシップオフィス]、

中国経済連合会、NPO法人日本エコツーリズム協会、一般社団法人 日本旅行業協会、

株式会社中国新聞社、学校法人鶴学園広島工業大学、

学校法人ひらた学園 I W A D 環境福祉専門学校

協力：NPO法人自然環境ネットワークSAREN、NPO法人自然と釣りのネットワーク、

日本ミクニヤ株式会社、総合技研株式会社、ひろでん中国新聞旅行株式会社、

株式会社近畿日本ツーリスト中国四国、株式会社グローバルコスモ

※このフォーラムは、環境省平成25年度エコツーリズム地域活性化支援事業の一環として、運営しております。

※このフォーラムは、瀬戸内海国立公園指定80周年記念パートナーシップイベントの一環として、運営しております。

瀬戸内海の自然・文化・歴史... 守り、育むエコツーリズム

本協議会は、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念として活動しています。

また、エコツアーを構築、実践することで、自然環境の保全・人材の育成・地域振興・新たな観光ビジネスの創生を目指しています。

第3回エコツーリズムフォーラムでは、協議会が掲げる理念や具体的な活動内容を地域の皆様方に広く知っていただくこと、また、瀬戸内海が国立公園に指定されてから80周年を迎えることを契機に、瀬戸内海の活性化を促す新たな社会システムのあるべき姿を議論し、その中で、エコツーリズム活動が果たす役割や貢献を考えること狙いとしています。

本フォーラムが瀬戸内海におけるインターナショナルな育成や、エコツーリズムネットワークの拡大に繋がることを願っております。



Program

13:00



13:15

■オープニング

開会挨拶 上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学院教授)
来賓挨拶 築島 明 環境省中国四国地方環境事務所 所長

13:15



14:30

■第1部 「国内外のエコツーリズム活動の実態」

活動報告

「瀬戸内ツーリズム推進協議会活動及びフランス視察報告」
上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学院教授)

基調講演

「フランス国のエコツーリズムの実態」
イザベル・デュフ フランス観光開発機構 副代表

14:40



16:20

■第2部 パネルディスカッション

「瀬戸内海の活性化に向けた新たな社会システムの構築と
エコツーリズム活動が果たす役割」

～瀬戸内海国立公園を基軸とした活用と維持～

コーディネーター	上嶋 英機	瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学院教授)
パネリスト	イザベル・デュフ	フランス観光開発機構 副代表
	戸田 常一	広島大学大学院社会科学研究科 教授
	市原 信男	(一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会顧問 (元 環境省中国四国地方環境事務所 所長)
	山城 滋	中国新聞社 編集局長
	藤本 正明	NPO法人自然と釣りのネットワーク 理事

16:20



16:30

■クロージング

閉会挨拶 富田 嶽穂 広島県商工労働局海の道プロジェクトチーム 担当課長

17:00



19:00

■交流会

(注:フォーラム終了後、会場近く(京橋川沿い)のカフェテラスで、オープンな雰囲気で
交流会を開催いたします!是非、ご参加ください!(17:00-19:00 参加費5,000円))

Profile



イザベル・デュフ Izabel Deuff フランス観光開発機構 副代表

フランス、ブルターニュ地方生まれ。1999年パリ政治学院卒業。1999から2001にかけて日本で留学。その後2年間、在韓国フランス大使館経済部でマーケティング＆コミュニケーション部門に従事した後日本に戻り、2006年よりフランス政府観光局にプロモーション・ディレクションとして就任、2010年には副代表に就任し現在に至る。主たる職務は、日本市場におけるフランスのプロモーション展開である。一般、業界およびプレス向けのマーケティング、並びに市場動向の調査分析を担当している。



戸田 常一 Toda Tsunekazu 広島大学大学院社会科学研究科 教授

1951年、大阪市生まれ。工学博士。京都大学工学部助手・講師・助教授を経て、平成元年創設の広島大学・地域経済研究センターに赴任。現在は、マネジメント専攻に所属し、地域政策、地域振興の教育・研究に従事する。日本地域学会や瀬戸内海研究会議などの学会・団体役員(理事)、広島県国土利用審議会や東広島市都市計画審議会の委員(会長)などを務める。著書として、「瀬戸内海を里海に—新たな視点による再生方策—」(2007)、「瀬戸内海の文化と環境」(1999)(共に分担執筆)などがある。



市原 信男 Ichihara Nobuo (一社)瀬戸内海エコツーリズム協議会顧問
(元 環境省中国四国地方環境事務所 所長)

1953年東京生まれ。東京教育大学林学科卒後、1976年環境庁入庁。全国の国立公園等に勤務、米国国立公園局1年間派遣、1999年国連持続可能な開発委員会での「持続可能な観光開発(エコツーリズム)に関する国際ワークプログラム」に参加。その後、民間活動支援室長を経て、山陽四国地区自然保護事務所長(のち中国四国地方環境事務所長)の4年半、瀬戸内海国立公園指定70周年及び各種事業を指揮。2010年中部地方環境事務所長として、名古屋での生物多様性条約COP10を終え、2011年からアジア航測(株)にて、全国の自然環境調査等を担当。



山城 滋 Yamashiro Shigeru 中国新聞社 編集局長

山口県生まれ。1975年に中国新聞社に入社し、編集委員室長、論説主幹、防長本社代表を経て2014年3月から編集局長。自治、瀬戸内海、農業・農村問題などをテーマに取材活動をしてきた。2007年には、取材チームをつけて「ムラは問う」を連載し、農の風景が縮小する農山村の現状を報告した。



藤本 正明 Fujimoto Masaaki NPO法人自然と釣りのネットワーク 理事

1954年、山口県柳井市に生まれる。大学卒業後、昭和52年4月から山口県小学校教員、青年の家職員を経て、平成22年3月に退職する。その間、スキー指導員、キャンプ指導員として野外活動の指導に携わる。平成18年にスキーバダイビングを始め、周防大島のニホンアワサンゴが生息する海域の保全や地域振興に取り組む。平成25年2月には周防大島南沖が瀬戸内海初の海域公園「周防大島海域公園」に指定される。現在、NPO法人自然と釣りのネットワーク、NPO法人海藻研究会の理事を務める。



上嶋 英機 Ueshima Hideki 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

1944年、福井県敦賀市生まれ。工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所に入所(現・産業技術総合研究所)以来、瀬戸内海の環境研究に従事。2005年より広島工業大学大学院教授にて現職。2010年、「一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会」理事長に就任。2011年、「瀬戸内ツーリズム推進協議会」会長に就任。所属団体に、「一般社団法人大阪沿岸環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア」理事長、「宮島ラムサール条約連絡協議会」会長など。

【瀬戸内ツーリズム推進協議会の活動】

1. 瀬戸内海国立公園における「瀬戸内海エコツーリズム」の構築事業
事業化の促進を図るために、エコツアーの本格的実施を行っています。
 - ・宮島エコツアー(外国人旅行者向け・国内旅行者向け)
 - ・芸能人エコツアー
 - ・防予諸島エコツアー
2. エコツーリズムのための人材育成事業
人材の養成研修「エコ塾」の充実図るため、養成研修の実践的運用をおこなっています。
3. エコツーリズムのためのインフラ整備計画事業
エコツーリズムのためのインフラ整備について、検討・提案を行っています。
 - ・エコツーリズムビジターセンターの機能提案
 - ・未利用施設の活用による地域振興策の提案
 - ・ネットワークの構築のためのインフラ整備提案



瀬戸内ツーリズム推進協議会の概要

名 称 瀬戸内ツーリズム推進協議会

代表者 会長 上嶋英機（広島工業大学 教授）

監事 富田厳穂（広島県地域政策局海の道プロジェクトチーム 担当課長）

設 立 平成 23 年 11 月

■ 理念と目的

瀬戸内海は、わが国最大の豊かな自然環境資源と海洋文化・歴史を有する内海部です。特に、瀬戸内海国立公園の島々が多様に存在し、豊かな環境資源と景観を有しています。この豊かな自然環境資源と歴史文化資源を長期的に保護し活用するには、自然景観と生物多様性の存在を実感しその価値を満喫する具体的な活動やシステムが必要です。そこで、瀬戸内海エコツーリズムでは、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念としたエコツアーを構築し実践し、自然環境の保全、地域コミュニティーの振興、新たな観光ビジネスの振興を目的とします。

エコツアーを通じて、地域環境（生態系景観）のあり方を考え、
その保全・再生に取り組み、生物多様性の確保を目指す

瀬戸内の自然環境と歴史・文化を学ぶエコツアーの実施

■ 活 動

1. エコツーリズムの構築

瀬戸内海国立公園の環境資源を評価し、その資源を活用したエコツーリズムの構築を図る。

2. セミナーの開催

自然環境の保全や生物多様性の確保に向けた情報、技術的手法、取り組みなどについてのセミナーを開講し一般に普及啓発を図る。

3. 人材育成

地域コーディネーターやエコツアーガイド（インターブリター）などの人材育成をおこなうため、養成・研修体制を構築し、実践的活動を図る。

4. 施設整備と地域活性化

エコツーリズムを運用するために必要な宿泊施設などの施設整備やエコツアーサイトの地域活性化のための基盤の構築を図る。

■協議会の構成と運営体制

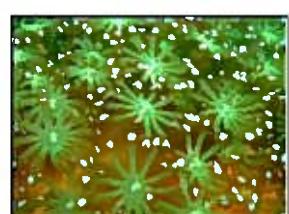
協議会の構成メンバーは、以下の通りです。尚、オブザーバーとして、関係団体（企業、大学、NPO 等）を配置し、隨時協議会に参加してもらいます。

機 関 広島県 地域政策局海の道プロジェクトチーム

呉市 環境部環境政策課

廿日市市 環境産業部観光課

事務局 一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会



オープニング

瀬戸内ツーリズム推進協議会



瀬戸内ツーリズム推進協議会



瀬戸内ツーリズム推進協議会
会長 上嶋 英機



理念と目的



この協議会では、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念としたエコツアーを構築し実践し、自然環境の保全、地域コミュニティーの振興、新たな観光ビジネスの振興を目的する。

エコツアーを通じて、地域環境（生態系景観）のあり方を考え、その保全・再生に取り組み、生物多様性の確保を目指す



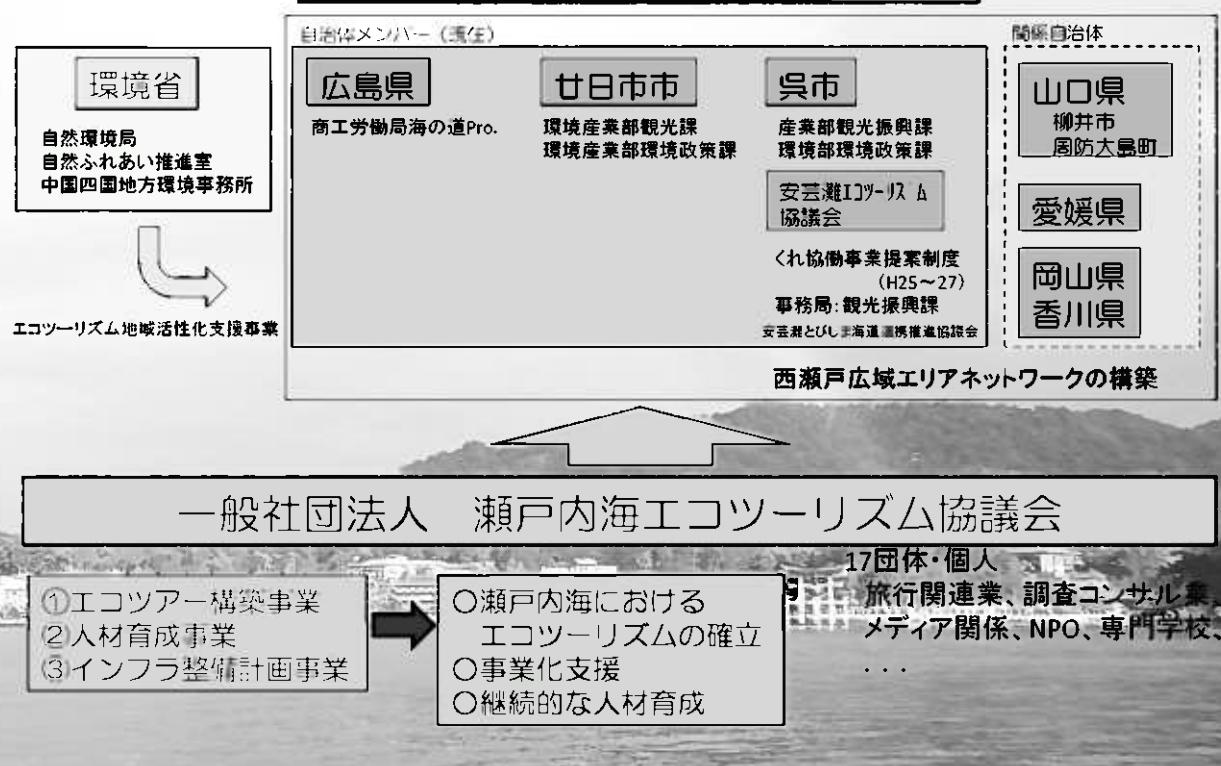
瀬戸内の自然環境と歴史・文化を学ぶエコツアーの実施



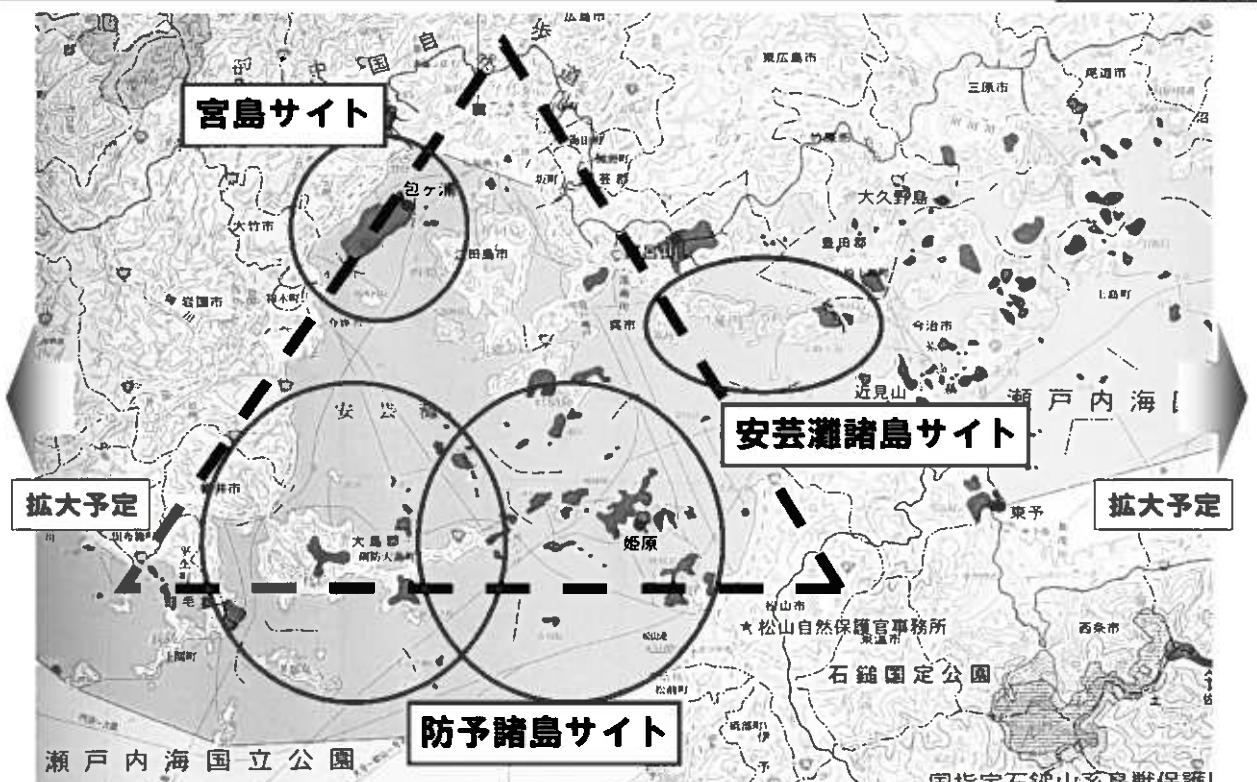
スキーム



瀬戸内ツーリズム推進協議会



活動範囲



事業内容



事業項目	目 標	活 動
エコツアー構築	<ul style="list-style-type: none">・外国人旅行者向けのエコツ アー開発・国内旅行者向けのエコツ アー開発	9/28~29宮島エコツアー、 ツアーガイドブック（英語 版） 11/2~3周防大島エコツー 12/7~8安芸灘エコツアー 9/16~24フランス国視察
人財育成	<ul style="list-style-type: none">・養成研修「エコ塾」の開校・フォーラムの開催	12/7~8安芸灘エコツアー とジョイントで「エコ塾」 を開校 3/8第3回フォーラム開催
施設整備と活用	<ul style="list-style-type: none">・エコツーリズムのための施 設整備と地域活性化	3エリアのエコツアーに折 り込み試行した。



第1部 海外のエコツーリズムの実態

・活動報告

「瀬戸内ツーリズム推進協議会活動及びフランス視察報告」

上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長



平成25年度
協議会活動及びフランス視察報告



瀬戸内ツーリズム推進協議会
会長 上嶋 英機



本日の話



1. 宮島エコツアー
2. 安芸灘エコツアー
3. 防予諸島エコツアー
4. フランス視察



1. 宮島エコツアー



外国人を対象とした
宮島の海の自然と湿地を体験するエコツアー



瀬戸内海国立公園
ユネスコ世界遺産指定・ラムサール条約登録
日本三景

1. 宮島エコツアー



■ Meeting place: Miyajimaguchi
Sambashi Bridge (behind the Souvenir shop)
(Momoji Height)

■ Meeting time: 09:00

■ Participation fee: max. JPY 15,000
(may be less)

■ Expected number of participants:
First registered 10 persons

2013 9/28-29

Initiated by: Association for promotion of tourism in Setouchi region
Organization bureau: Setouchi Tourism Association
Contact: Satoshi Tomita e-mail: tom.daihikunoya.co.jp tel: 082-259-3371

アクティビティー

- 船による七浦巡り
- 腰細浦潮間帯生物観察
- 青海苔浦自然観察
スケッチ
- 宮島東岸ウォーキング
自然観察、砲台跡見学

得られた事

- 旅行会社との連携
- 滞在型ツアーの構築
- 日本在住外国人コミュニティー
を活用した集客



1. 宮島エコツアー



ツアーパートナー

定員10名中8名

参加者の出身国：フランス／ナイジェリア・・・2カ国

ツアーコンセプト

コーディネーター：瀬戸内ツーリズム推進協議会（上嶋会長）

運営スタッフ：瀬戸内海エコツーリズム協議会、通訳、
(株)近畿日本ツーリスト中国四国

インタブリター：NPO自然環境ネットワークSAREN



1. 宮島エコツアー 船による七浦神社巡り



1. 宮島エコツアー

七浦神社



1. 宮島エコツアー

船による七浦神社巡り



船上より七浦神社について学ぶ

1. 宮島エコツアー 潮間帯生物観察（腰細浦）



1. 宮島エコツアー 岩場観察、潮間帯生物観察（マッピング）



マッピング体験

1. 宮島エコツアー 青海苔浦自然観察



自然にふれあいスケッチ

1. 宮島エコツアー 昼食（青海苔浦）



お弁当／味噌汁提供

1. 宮島エコツアー

夕食



日本の懐石料理、お酒を堪能

1. 宮島エコツアー

ウォーキング（宮島東岸）



約6.4kmのコースを歩きながら、宮島の自然（植物・生物）や歴史・文化を学び、写真撮影やスケッチを行った。



1. 宮島エコツアー 宮島東岸ウォーキング、自然観察



歩きながら自然・歴史を学ぶ

1. 宮島エコツアー 砲台跡の見学



1. 宮島エコツアー

ツアーパートナーの声

- ・ 参加者のツアーメンテナントは高い
- ・ 歴史ある文化と自然を堪能できとても満足
- ・ ガイドサービスも満足
- ・ 歴史や文化をもっと知りたい
- ・ 海岸清掃活動も行いたい



2. 安芸灘諸島エコツアー

人材養成講座「エコ塾」とのジョイント研修
島の魅力を感じ、学ぶエコツアー in 安芸灘諸島



2. 安芸灘諸島エコツアー



島の魅力を感じ、学ぶ エコツアー in 安芸灘諸島

～安芸灘とびしま海道～
安芸灘諸島の豊かな自然、歴史・文化に触れ合う
体験・学習 エコツアー

日 時： 2013/12/7 (土) ~ 8 (日)

場 所： 安芸灘諸島
定 員： 10名程度
参加費： 15,000円（宿泊費、食事費、研修資料代込）
※学生13,000円
集合場所：呉市蒲刈ウォーキングセンター（9:30集合）
※公共交通機関をご利用のお客様は
当日（12/7(土)）JR広島駅9:00に集合してください。
送迎の車をご用意しております。



主 催：安芸灘エコツアーリズム協議会
「団体便成」
～社内海エコツアーリズム協議会、呉市観光振興課、安芸灘とびしま海道推進協議会
共 催：瀬戸内ツーリズム推進協議会

エコ塾

- 『エコツアーリズム概論』
- 『エコツアーリズム事業運営の仕方』
- 『瀬戸内の島の活性化』
- 『地域活性化とエコツアーリズムのスキーム作り』

アクティビティー

- 海辺の生物・漂着物観察体験
- シーカヤック体験
- トレッキング体験

見学会

- 豊島の下町見学
- 斎島見学
- ももへの手紙のモデルとなった大長・御手洗見学

2. 安芸灘諸島エコツアー



ツアーパートナー

定員10名中10名

参加者：地元公民館職員／大学教授／大学生・院生／会社員／専門学校生 等

ツアーモデラタ

コーディネーター：瀬戸内ツーリズム推進協議会（上嶋会長）

運営スタッフ：瀬戸内海エコツアーリズム協議会、
（株）グローバルコスモ

インタブリター：地元自治体職員 等



蒲刈ウォーキングセンター

島の施設を研修や宿泊に活用



2. 安芸灘諸島エコツアー



スケジュール

1日目 (12/7)

時間	場所	内容	担当
9:45～10:00	瀬戸ウォーキングセンター	オリエンテーション	事務局
10:00～10:45	〃	講義型研修①『エコツアーリズム概論』	上嶋英機(広島工大)
10:55～11:30	〃	講義型研修②『エコツアーリズム事業運営の仕方』	松田光輝 (株知床ネイチャーオフィス)
12:00～12:30	〃	講義型研修③『瀬戸内の島の活性化』	後藤 昇(広島大学)
12:45～13:40	西ヶ浜海岸 展望	体験型研修①『海辺の生物、巻着物経験体験 お弁当と汁物提供(事務局)』	日本エクニヤ(株)
13:45～15:15	H&G海洋センター 呉市瀬戸大浦	体験型研修②『シーカヤック体験』	H&G海洋センター 中村氏 (瀬戸ウォーキングセンター)
15:30～17:00	〃	体験型研修③『トレッキング体験』	陸山 功
18:00～21:00	輝きの館	夕食・交流会『写真から見た安芸灘周辺の自然・文化・歴史』	
21:00～	輝きの館	映画鑑賞『ももへの手紙』	

2日目 (12/8)

時間	場所	内容	担当
8:00～ 8:30	輝きの館	朝食	
8:45～ 9:55	瀬戸ウォーキングセンター	移動	
9:00～10:00	〃	講義型研修④『地域活性化とエコツアーリズムのスキーム作り』	戸田常一(広島大学)
10:55～11:12	あひの里いつき	豊島→豊島 移動	
11:15～12:30	あひの里いつき	見学会①『あひの里いつき』十景食 西島→豊島	上嶋 英機
12:40～12:57	大長	豊島→大長 移動	
13:00～13:30	大長	見学会②『大長』	
13:30～15:00	大長	大長→瀬戸ウォーキングセンター 結果の発表&討議	松田氏 (コメントーター)
15:00～15:30	瀬戸ウォーキングセンター		
15:30～16:30	〃		
16:30～16:45	〃	エンディング	



2. 安芸灘諸島エコツアー



人材養成講座『エコ塾』

基礎～応用コースのプレ開講！

瀬戸内各地で活躍

○ 知る
○ 解る
○ できる

- ①基礎知識: エコツアーリズム概論／観光学／地域社会学 等
- ②技術: インタープリテーション(ガイド)技術／プログラムデザインの方法／ファシリテーション技術 等
- ③事業運営: 組織運営の実際／マーケティング論／プロデュースの方法 等
- ④安全管理: リスクマネジメント論／関連法規 等
- ⑤資源管理: 地域資源調査の方法／自然環境保全論／動植物に関する知識と同定法 等

今回の“エコ塾”講師陣

- 上嶋英機 広島工業大学教授
- 戸田常一 広島大学大学院社会科学研究科教授
- 松田光輝 株式会社知床ネイチャー代表取締役
日本エコツアーリズム協会理事
- 陸山 功 NPO 自然環境ネットワークSAREN理事長
- 後藤 昇 広島大学大学院社会科学研究科客員教授



2. 安芸灘諸島エコツアー エコ塾：講義型研修



講義型研修①「エコツーリズム概論」



講義型研修②「エコツーリズム事業運営の仕方」



講義型研修③「瀬戸内の島の活性化」



講義型研修④「地域活性化とエコツーリズムのスキーム作り」

2. 安芸灘諸島エコツアー 海辺の生物・漂着物観察



恋ヶ浜で浜大根を探って
お弁当と一緒に試食



2. 安芸灘諸島エコツアー シーカヤック体験



ゾウさん岩の前で
記念撮影



2. 安芸灘諸島エコツアー トレッキング体験



きれいな夕焼けと
地元の美味しいみかんを堪能



2. 安芸灘諸島エコツアー

夕食・交流会

『写真から見た安芸灘周辺の自然・文化・歴史』



地元の味を堪能し
安芸灘の写真に感動



2. 安芸灘諸島エコツアー 豊島見学



地元の方のガイドで
豊浜町豊島の街並み見学



2. 安芸灘諸島エコツアー 斎島見学



2. 安芸灘諸島エコツアー 大長・御手洗見学



大長の町並みを歩きながら、
みかんの歴史・文化を理解
“ももへの手紙”
の世界を堪能



2. 安芸灘諸島エコツアー

修了証授与



研修の最後は、理事長より
終了証を授与



2. 安芸灘諸島エコツアー

参加者の声



- ・研修の内容にとても満足。
- ・研修内容も適切で、レベル高い講義を受けることができた。
- ・島民の温かさ、島の素晴しさを感じた。
- ・エコツーリズムについてもっと詳しく知りたくなった。
- ・コーディネーターの人材力の高さを感じた。



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



瀬戸内海が織り成す自然に触れ合うエコツアーア
～スナメリ&ニホンアワサンゴウォッチング～

瀬戸内海国立公園
生態系の頂点 スナメリ
海域公園指定 ニホンアワサンゴ群生地

3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



瀬戸内海が織り成す
自然に触れ合うエコツアーア



～スナメリ&ニホンアワサンゴウォッチング～

開催日 2013年 11/2(土)～11/3(日)

(2日前の滞在型ツアーア)

○応募人数 12名 先着とさせて頂きます。

○参加対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)

○参加費 15,000円(宿泊費、食事代、資料代)

○集合場所:柳井港

主催

瀬戸内ツーリズム推進協議会

共催

NPO法人 自然と釣りのネットワーク

旅行企画・実施

ひろでん中国新聞旅行株式会社

アクティビティー

- スナメリウォッチング
- 潮流観察
- 防予諸島周遊
- 自然体験
- ニホンアワサンゴ観察
- シーカヤック体験

得られたこと

- 旅行会社との連携
- 滞在型の構築
- ビジネス化への課題

3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



ツアーパートナー

定員10名中8名

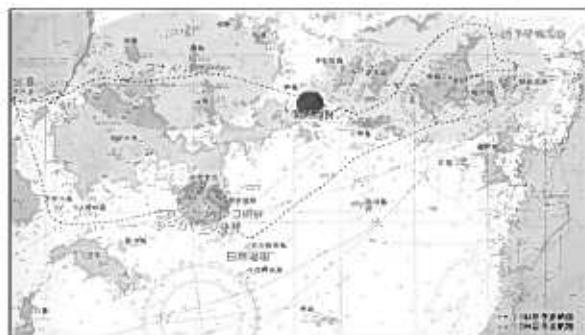
参加者：親子や夫婦など、一般の方々を募集

ツアーフォルマット

コーディネーター：瀬戸内ツーリズム推進協議会（上嶋会長）

運営スタッフ：瀬戸内海エコツーリズム協議会、
ひろでん中国新聞旅行(株)

インタブリター：NPO 自然と釣りのネットワーク 等



チャーター船で周遊



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



スケジュール

1日目のスケジュール(11/2)		
時間	内容	場所
9:00	集合・概要説明	柳井港
9:30	スナメリ観察	柳井～情の瀬戸
11:30	潮流観察	船巡り
12:30	昼食	情島
13:30	防予諸島周遊	情島～中島
17:30	中島 宿泊先へ移動	中島
18:00	自由時間	宿泊先(よろいや旅館)
19:00	夕食	宿泊先(よろいや旅館)

2日目のスケジュール(11/3)

時間	内容	場所
7:00	朝食	宿泊先(よろいや旅館)
8:00	宿発	中島港
8:30	出港・クルージング	中島～大水無瀬
10:00	大水無瀬で自由行動	大水無瀬
11:30	移動	大水無瀬～地家室
12:00	昼食	地家室
13:00	ニホンアワサンゴ観察&シーカヤック体験	水中カメラ、箱メガネで観察、ダイバーによる撮影
15:00	クルージング	地家室～柳井港
17:30	解散	柳井港



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー スナメリ



写真：中国新聞
記事：中国新聞(2012.6.13付)

3. 防予諸島（周防大島）エコツアー ニホンアワサンゴ 日本では...



NPO法人 自然と釣りのネットワーク



- ・千葉県～種子島の太平洋岸、
山口県・島根県沖の日本海側
に分布
- ・東アジアの固有種
- ・温帯域に生息するサンゴ
- ・岩礁域の岩に生息

- ・沖縄などに生息するサンゴ
と同じ仲間
- ・イシサンゴ目ハマサンゴ科
アワサンゴ属
- ・エダサンゴ・ミドリイシの
仲間

瀬戸内海では



周防大島の2ヶ所と愛媛県伊方の
1ヶ所に生息している

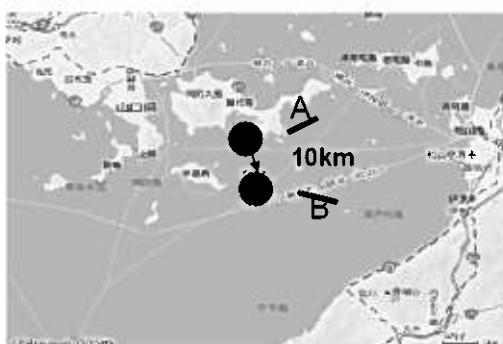


3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



周防大島では

・周防大島の群生地は地図で示す2ヶ所ある。



A : 沖家室島

- ・Aの群生地は広さが2000m²（50mブルー2つ分）もあり、日本一の広さである。
- ・当時の広さは今の半分以下だった。
- ・ニホンアワサンゴとわかったのは約10年前である。
- ・水深が3m～15mに生息している。
- ・周防大島以外の群生地はその個体数が10個体程度であるが、A地点の数は約4万個はある。

B : 小水無瀬島

- ・2011年11月に周防大島（屋代島）の10km沖合の小水無瀬島で発見された。
- ・この群生地の広さは50mで、水深7～9mに生息している。
- ・個体数は約100個体である。
- ・この群生地の広さは、日本2番目である。



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



スナメリウォッチング



11/2

二神島付近でスナメリ？
を確認

11/3

野忽那一大水無瀬間の移動中
にイルカ？を確認



11/2



11/3



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



潮流観察



情けの瀬戸では、複雑な潮流が発生し、渦や湧昇流が確認されました。また、そこにたたずむ根ナシ礁灯台は、航行する船舶の安全を長い間見守ってきたもので、歴史を感じました。



渦



湧昇流



根ナシ礁灯台



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



防予諸島周遊



チャーター船
かっちゃん号



クダコ島灯台



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



昼食



情島に上陸し、
地産のお弁当を堪能！



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



夕食



中島の地元料理を堪能！



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



自然体験 in 大水無瀬島



あいにくの雨でしたが、
海岸を構成する玉石や貝採取を行いました。

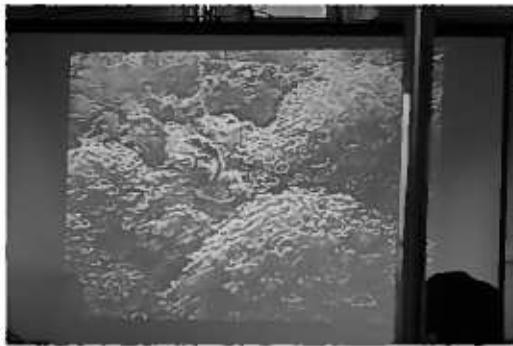
サルの頭蓋骨が！



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー



ニホンアワサンゴ観察



地元のダイバー
も協力



船内のスクリーンにてニホンアワ
サンゴの観察



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー シーカヤック



陸上で講習



沖合までGO！



浅瀬で講習



無事帰還。ほっ！



3. 防予諸島（周防大島）エコツアー 参加者の声



- ・ほぼ全てのプログラムに満足を頂けた。
- ・観光とエコツアーとの違いも感じて頂け、ビジネス化の可能性もあると評価を頂いた。
- ・次回も参加したい意見も多く頂いた。



4. フランス視察



概要

日時：平成25年9月16日～24日

目的：エコツーリズム／エコツアーの“本物”
を知る！

- フランスの先進的なエコツーリズム関係者と現地にて交流を図り、スキームやコーディネーターのノウハウを理解する。
- 海外で実施されているエコツアーの実態やスキル・マニュアルなどを直接体験し、国内エコツアーへの活用策をまとめる。



4. フランス視察



フランス観光開発機構



【日 時】 平成25年9月17日

【訪問先】

エンジニアリング部門 他

- 観光地開発や観光振興策の状況を確認。
- 市場情報／観光関連業などのインテリジェント・プラットフォーム機能の把握。
- 地域の観光局やツーリズム関連資料の入手。



4. フランス視察

モンサンミッシェル市庁



【日 時】平成25年9月18日
【訪問先】

国際観光交流担当



- ラムサール条約に関する広報・教育・参加・普及啓発活動の状況把握。
- モンサンミッシェル市のスキー姆把握。



4. フランス視察

モンサンミッシェルの街並み



4. フランス視察



トンブレンナ島ウォーキング



4. フランス視察



島嶼活性化プロジェクトとは？（フランス観光開発機構）

1. 従来：国税→沿岸域の土地の購入・施設工事と保全
2. 島の継続的な維持管理(リメイク)→活用
3. 国土は民間に委ねないという鉄則(国土保全)と政策的課題の融合
→ファンド・エージェントの数・利益相反を解決
4. ボトム(地域)からのイニシアティブでEC(欧州委員会)からプロジェクトファンドを確保。
5. プロジェクトは、島の過疎化対策及び無人島の活用である。(4カ国の連携／ECより50%の補助)





4. フランス視察

島嶼活性化プロジェクトとは？（フランス観光開発機構）

6. プロジェクトの採用条件

- 1) プロジェクトの対象区域（島）の住民の一人当たりの国民総生産が、ヨーロッパの平均の国民総生産の75%以下であること。
- 2) このプロジェクトを通じて、ヨーロッパの他の地域とのコミュニケーションや交流等を進めることができること。
- 3) 環境を守るために、有機農法など環境に不可が掛からない生産活動を促進すること。



4. フランス視察



島嶼活性化の事例～サン島【訪問日】平成25年9月19日



- フィニステール県西端から8kmの島。広さ56ha、最も高いところで海拔9m。
- 2008年の風水害（死者57名）。災害対策法を適用し、復旧工事中。
- フランスの特別区に指定されており、無税。
- 重要伝統的建造物群保存地区。文化遺産保護制度（バテイリモール）のファンドで維持管理。



4. フランス視察



島嶼活性化の事例～サン島

- ”環境と経済”の両立は、
　　国の責務であるという住民意識
- キャパシティーを超えないツーリストしか受け入れない！
 - 環境質の維持・施設管理・ツーリストの満足度を重視！
 - 多すぎるツーリストは、環境破壊を招く。従って、マスツーリズムは受け入れない。
 - ルールを確実に守らせることが大切(例えば、石の採取禁止など)。



4. フランス視察



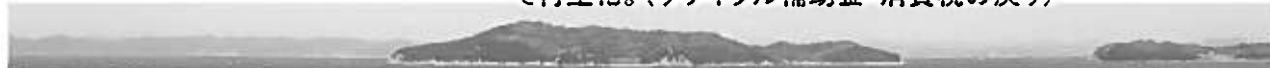
島嶼活性化の事例～サン島



- ・島内の宿泊施設は、Hotelが2件、民宿が40件程度
- ・島内に定住している住民は、140名程度。



- 夏の時期は、3往復／日の定期便を運行し、ツーリストを含めて2,400人程度が島内に居住。
- ゴミ処理の問題: 分類→コンパクト化→本土(ブレスト)へ輸送→最終処分を実施。生ゴミなどは、コンポスト化して、肥料として再生化。(リサイクル補助金・消費税の戻り)



4. フランス視察



島嶼活性化の事例～ケメネーズ島

【訪問日】平成25年9月20日



○歴史文化的・自然資源生物多様性の観点）のポテンシャルが高い。（フランス観光開発局が2003年に購入）

○昔は宮農者がいたが、購入当時は既に無人島化。

○資源循環型のエコ・アイランドとして、初めての事例



4. フランス視察



島嶼活性化の事例～ケメネーズ島

コンセプト：“エコ・レストレーション”

人を島に戻し、農業を中心とした生産性のある活動を行う。

○2003年～2007年

○農場放棄地や建物のレストレーション

○船着場・再生可能エネルギー施設（太陽光・風力発電）・水処理施設・有機物廃水処理施設の造営



4. フランス視察



島嶼活性化の事例～ケメネーズ島



4. フランス視察



島嶼活性化の事例～ケメネーズ島

島の管理者: CdLの応募コンクールで選ばれた若い夫婦(小さな子供2人との4人家族)。

島に居住し、維持管理は自分たちで賄う！

【収入源】

- 1)ツーリストに対する宿泊ビジネス(Stayのみの世話)。
- 2)農業:オーガニックラベルに認定されたじゃがいもや羊を主に生産(インターネット販売)。
- 3)水産業:夏は紅藻類を採取(食用)し、販売。冬はコンブを採取(肥料)。
- 4)島への交通:フェリーチケットには入島税を加算。タクシーボートは、民間会社と契約し、宿泊費に含めて徴収。



4. フランス視察

島嶼活性化の事例～ケメネーズ島



4. フランス視察

メルカントゥール国立公園の活性化



【訪問日】平成25年9月22日

- ボレオン山のトレッキング
- ニース大学工学部ECOMERS研究室訪問。
- サン・マルタン・ベズビー村
→エコ村
- アルファ公園→狼の飼育



4. フランス視察

メルカントゥール国立公園の活性化

ボレオン山トレッキング



4. フランス視察

メルカントゥール国立公園の活性化

サン・マルタン・ベスビー村（エコ村）視察、エコツアー実態把握



Alpha公園



第1部 海外のエコツーリズムの実態

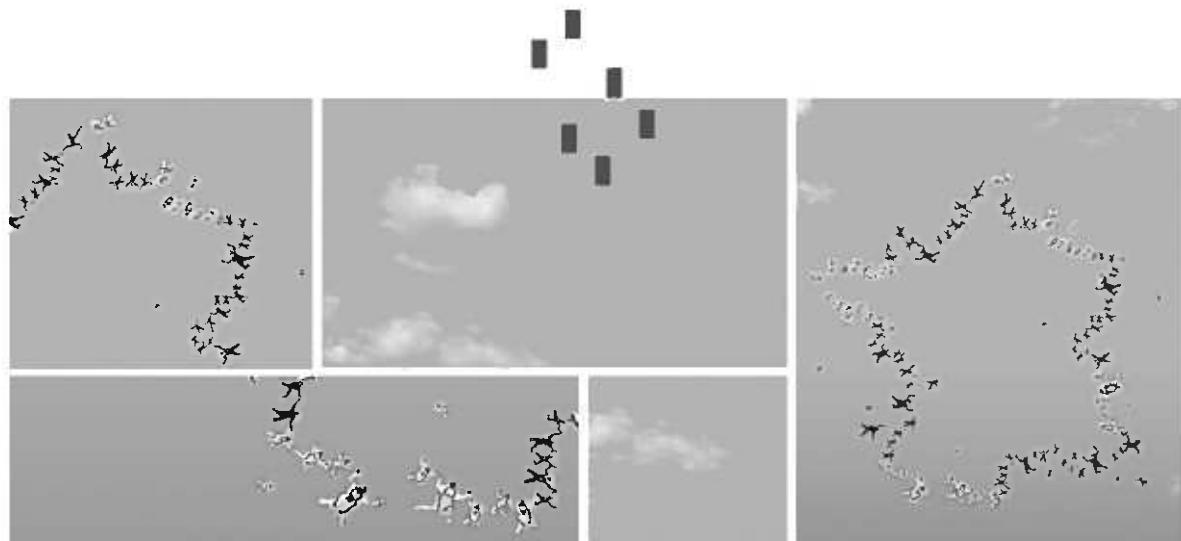
・基調講演1

「フランス国のエコツーリズムの実態」

イザベル・デュフ フランス観光開発機構 副代表

ATOUT FRANCE

AGENCE DE DÉVELOPPEMENT
TOURISTIQUE DE LA FRANCE



フランス観光開発機構 副代表 イザベル・デュフ



Atout France/Maurice Subervie

フランスのエコツーリズム



フランスにおける観光産業の重要性

観光者数世界一：

8300万人の外国人観光客が2012年にフランスへ。前年度より6%増。

フランスの国内総生産で7%を占める観光産業。
経済効果ナンバーワンの産業。

200万人が観光業に従事。21万社が存在。

€358億の経済収入。前年度比 6.3% 増。

2012年度は€130億、2011年度は€75億。

1位

フランス第一の産業

3位

観光収入は世界第3位

約

7% の国内総生産



フランスの観光を発展させるエージェンシー

フランスの最重要産業である観光を促進するのがフランス観光開発機構の役割。

→ 観光地としてのフランスをブランドとしてプロモーションし、開発する

→ フランスの観光地を国内および外国人客の観光ニーズに適応させる

→ 経済競争力を高める為に官民のパートナーへのサポート

ブランドとしてのフランス
観光地フランスのアイデンティティー

→ 観光地の良さをプロモーション

→ 観光地のメディア露出

→ パートナー企業・団体へのコミュニケーションツールにロゴを使うことによる特典。



rendezvousenfrance.com



フランス観光開発機構のミッション

→ 市場観察とマーケティング

フランス観光開発機構は国際観光市場（消費者と流通網）の詳細かつ継続的なモニタリングと分析を第一の使命としております。

フランス観光開発機構は需要と供給の両方の動きを的確にとらえることにより、コミュニケーション、プロモーション、各種流通網との提携に対し、より的確な投資先選択を可能にします。



フランス観光開発機構のミッション



→ 販売促進へのサポート

パートナー企業・団体のフランス内外での競争力を高め、デスティネーションの魅力をレベルアップします。



→ マーケティングへのサポート

パートナー企業・団体のフランス国内外におけるマーケティング活動のお手伝いを致します。コミュニケーションキャンペーン、トレードフェア、ワークショップ、研修旅行、プレス発表会等年間2千以上のマーケティングアクションを実施しています。



フランス観光開発機構のミッション

→ 質を追求

フランス観光開発機構は観光関連各種オファーの品質向上も担っています。

宿泊施設の各付け、旅行会社の登録、「ワインと発見の旅」のような認証ラベル作り等を通して質の高い観光商品の促進に努めています。



1. フランスでの持続可能な観光

「持続可能な観光」の定義：

- ・ 環境資源を使いつつも環境保護に留意する事。
- ・ 伝統を守りつつ、地元住民の社会文化性を尊重する事。
- ・ 経済活動を長期的に保証するものである事。



観光と持続可能性

- 観光がプラスとなる点

- 自然と文化の無形財産としての認識強化。
- 地域経済の持続的発展に貢献し雇用を創出。
- 異文化間理解と相互尊重の推進。

- 観光がマイナスとなる点

- 既存の生態系への負担。
 - さまざまな形で直接的・間接的な汚染。
 - 渋滞・混雑。
 - 地元住民がこうむる不都合。
- しかしながら、ヨーロッパでは持続可能な観光についての認識は定着している。



ヨーロッパでの持続可能な観光の現状

- **96%**のEU市民が環境保護の大切さを認識している。

しかしながら、国によって環境問題と対応の仕方は異なる。

- 環境に配慮した消費と責任ある購買

- **60%**のEU市民が環境に配慮した消費を支持する一方で
- 環境に配慮した若しくは無農薬製品を購入しているのは15%のみ。

エコな視点はドイツ、ベルギー、英国、フランスよりも北欧でより一般的に理解されている。



フランスに於ける持続可能性への認識

- **2007年7月：グルネル法 1**
 - ・ 国、自治体、企業、団体と市民が満場一致で以下の方針を決めた。
 - ・ 有機農法など持続可能な方法による食糧供給。
 - ・ 水とエネルギーの過度な利用の制御。
 - ・ ゴミの減少。
 - ・ 環境に優しい習慣の育成。
 - ・ 新しい交通手段の開発。

- **2010年5月：グルネル法 2**
 - “グルネル法 1”の強化の為の新しい法律。
 - ・ これらの法令は海洋の保護にも適用。



フランスに於ける持続可能性への認識

- **2009年の調査によると60%のフランス人は「持続可能な観光」という表現を聞いた事がある。**
 - ・ 「持続可能な観光」に対する興味が強い。
 - ・ 90%のフランス人はより「持続可能な観光」について学びたい意識を持っている。
 - ・ 79%が環境に対する観光の「責任ある」アプローチについて興味を持っている。
 - ・ 「持続可能な観光」を信じ、以下のアクションを起こしたいと思っている。
 - 環境に優しい旅先の選択。
 - 旅先でのエコな旅行者としての行動。
 - 環境に優しい交通手段の利用。
 - 環境に優しい宿泊施設に滞在。

- ・ ただし、実際に行動に移している人はまだ少数派。
- ・ 2009年の調査では、持続可能な観光に則した商品を購入したフランス人はわずか4%。



フランスにおける持続可能な観光促進への障害



2. フランスでのエコツーリズム

エコツーリズムの定義：

- エコツーリズムは自然環境と繋がっている。
- 環境保全、教育、地域住民のための経済的利益の概念



フランスでのエコツーリズム

- フランスでのエコツーリズムとは：
 - ・ 経済的脚光を浴びる自然地域や保存の危機に陥っている文化遺産のための有効な警鐘ツール
 - ・ 環境を破壊する事なく地域の雇用を強化をする為の効果的なツール
 - ・ デスティネーションの良いブランドイメージ
 - ・ 旅行業界への新しい風

対象となるのは：

- 環境：自然、遺産、エネルギー
- 社会：地元住人、雇用、旅行者
- 経済：投資、収益性

- フランスでは第一に自然および自然保護地域と結びつけて考えられている。



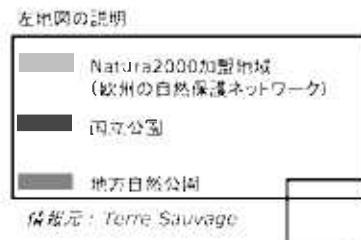
フランスに於けるエコツーリズムの主な担い手

- エコツーリズムは街ではなく自然の一部

- ✓ 海洋公園を含む国立公園
- ✓ 地方自然公園とエコ・フレンドリーなホテル
- ✓ 文化遺産のネットワーク
- ✓ 海岸保護法と海岸保護地域
- ✓ 環境に関わる主要プロジェクト：モン・サン・ミッシェルの海に浮かぶ島の姿を取り戻す工事等
- ✓ 自然遺産の重要性を忘れない事。

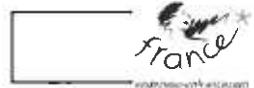


✓ 国立公園・地方公園は最初の典型的「エコ・ツーリスト」商品。



フランスの国立公園

- 国立公園はエコツーリズムに最適
- フランスには10の国立公園があり、うち3つはヨーロッパの持続可能な観光条例（1995年）に入っている。
メルカントール公園（Mercantour park）、セヴアンヌ公園（Cevennes park）そしてグアドループ公園（Guadeloupe park）
- 政府行政機関の「国立自然公園協会（Parcs Nationaux de France）」によって2006年より管理されている。



フランスの地方公園

- フランスの46の地方公園
- 自治体によって作られた地方公園は国によって認定される。
- 動植物相を保護する特別な規定は無い。
- 自治体が地域の伝統を守り、環境と人のバランスを保つ活動の場である。



フランスでの海岸地域の保全

- フランスの海岸地域保全

- ✓ 1975年に海岸保全庁が公的機関として誕生。
- ✓ 海岸、湖畔、10平方キロ以上の水に面した地域を守る事がミッション。
- ✓ 153 288 ヘクタールの地域が保護領域になっている。



その他の活動

- 自治体

例:モン・サン・ミッシェルの大改修工事



✓ モン・サン＝ミッシェル修道院は年に50-90回陸から切り離され、湾に浮き上がる姿を取り戻す。

- ✓ 2005年に工事開始。
- ✓ 2億3000万ユーロを投じて海に浮かぶ島の姿の取り戻す大工事。
- ✓ 欧州委員会の支援のもと、島のエコシステム、二酸化炭素の削減、観光の促進プロジェクトが進行。



フランスの環境保護活動: その他の担い手

- 公的機関：地方観光局



- 民間：旅行会社

ツアー・オペレーターによる持続可能な観光へのイニシアチブ



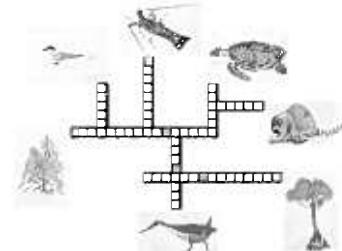
3. フランスでのエコツーリズムの例

- 国立公園
- 地方自然公園
- 海洋保護地域



La métamorphose : l'éclos, tout fait sortir de la grappe et émerveille la nature !

Sortez l'éclos pour faire émerger la nature !

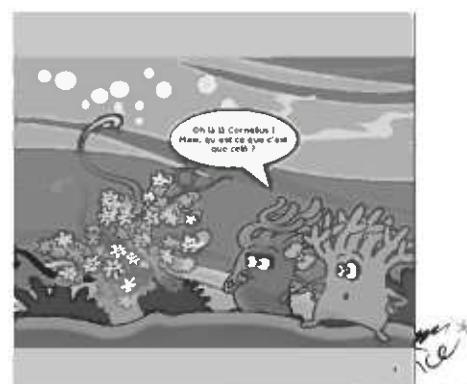


Mémo à 10 cases

© M. Tisser - Illustration © M. Tisser - Recommandé par le Syndicat des éditeurs

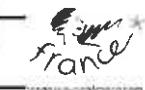
エコツーリズム教育

- グアドループの国立公園の例
 - 2007年にグアドループ国立公園は学校教育担当機関との間に協定を調印した。
 - 教員と生徒用の学習ツールも用意されている。
 - 短編ルポルタージュ
 - ゲームとクイズ
 - ビデオ



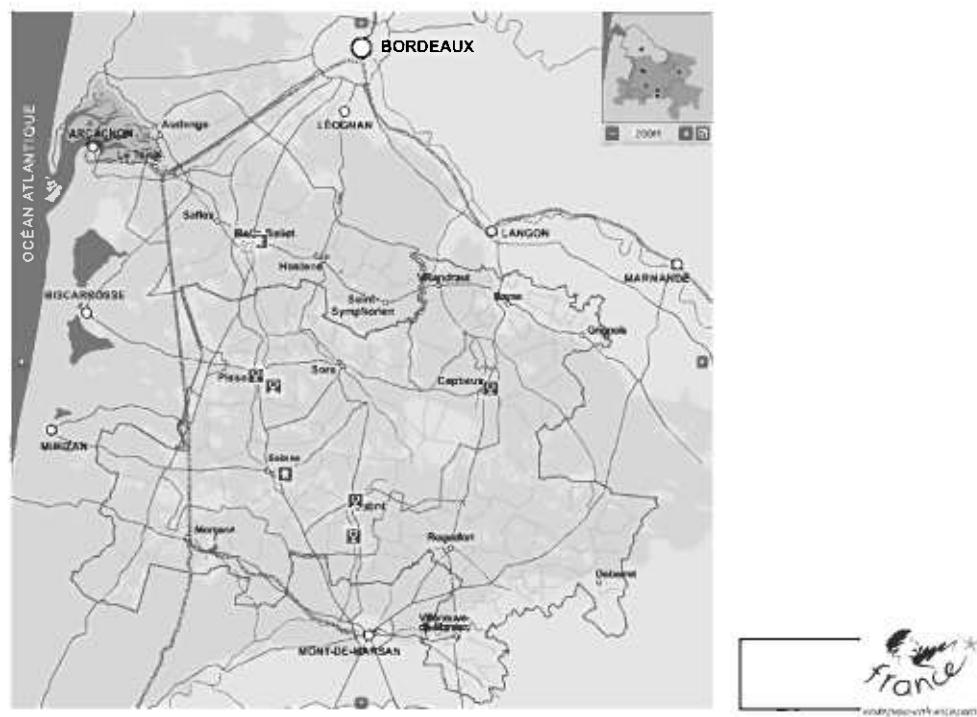
フランスの地方公園におけるエコツーリズム

- レ・ランド・ド・ガスコニュ公園
 - 1970年に設立。41の地方当局が結集。
 - 31万5 000 ヘクタールと6万500 人の住人が住むアキテヌ海岸地方公園は自治体によって作られた。これらの公園は国によって認定されなければならない。
 - 地方公園はエコツーリズムのブランドを持ち、専用ウェブサイトで地域住民の活動を紹介する。環境への最小限度の負担を意識し、再生可能なエネルギーを利用したゲストハウスに旅行者を迎える入ればならない。



フランスの地域公園におけるエコツーリズム

• レ・ランド・ド・ガスコニュ地域自然公園



フランスの地方公園におけるエコツーリズム

• ギャレンの森 (The Garein Forest)

1. 18世紀の民家を利用した博物館



森林管理者による説明。

2. 歩きながら森林について学ぶコース。



3. 種蒔きの出来る庭園スペース。



エコツーリズムと持続可能な観光の促進の識別化の取り組み

- 旅行者のホテル、キャンプ場、もしくは行先を決定するものではないが、選択理由の一員となる。
- 山間部
 - 「マウンテン・ライダーズ」
 - 「山岳リゾート市町村長の会」
 - 持続可能な観光の為の規定に50以上のスキー場が署名。
 - レ・ジェ (Les Gets)は持続可能な観光に熱心に取り組む山間部リゾートの集まり Alpine Pearls 加盟村のひとつ。
- 海岸地域
 - パヴィヨン・ブルー
 - プロヴァンスの清潔な港連盟
 - 緑溢れるリゾート連盟 (Green Stations)
- 企業
 - フランス国鉄：責任ある観光賞
 - アコー：「あなたのタオルが木を植える」キャンペーン。
 - 220以上のホテルがヨーロッパ規模のエコの認定を受けた。
 - この認定を受ける為には無駄なエネルギーと水の利用制御、ゴミの減少、再生可能なエネルギーの利用、利用客への環境への意識強化を行わなければならない



観光教育システムにおけるグリーンツーリズム

- 中等教育でのトレーニング
- 高等教育におけるトレーニング
- 現在学位が与えられる教育:
 - アンジェ大学でのエコツーリズム専門学士号
 - ディニュ・レ・バンでの経営学、観光、地域開発の学士号
 - モンペリエ第3大学での持続可能な観光の修士号





rendezvousenfrance.com

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター

上嶋 英機 濑戸内ツーリズム推進協議会 会長

パネリスト

イザベル・デュフ フランス観光開発機構 副代表

戸田 常一 広島大学大学院社会科学研究科 教授、

瀬戸内海エコツーリズム協議会 顧問

市原 信男 元 環境省中国四国地方環境事務所 所長、

瀬戸内海エコツーリズム協議会 顧問

山城 滋 中国新聞社 総合編集本部長本社代表

藤本 正明 NPO法人自然と釣りのネットワーク理事

シンポジウム共通テーマ
「瀬戸内海の新たな社会システム化に対して、
エコツーリズム活動が果たす役割と貢献
—瀬戸内海国立公園を横軸として—」

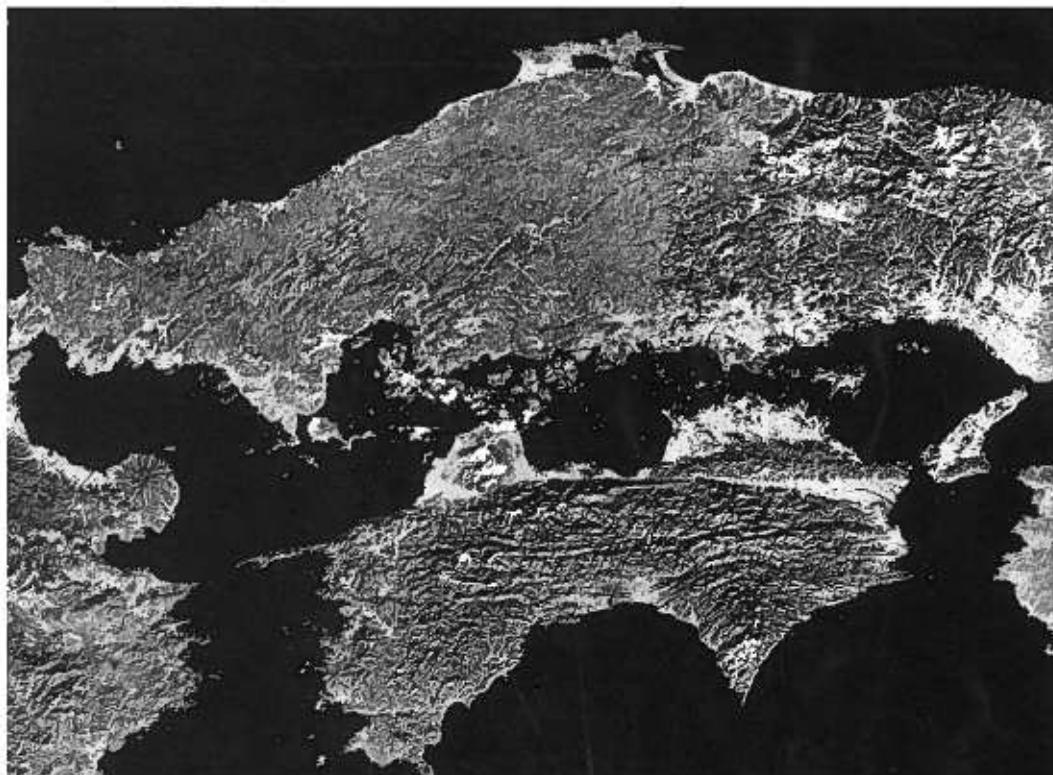
私に与えられたテーマ
「活性化に向けた
新たな社会システムの提案と
エコツーリズムの貢献」

広島大学社会科学研究科教授 戸田常一

構 図

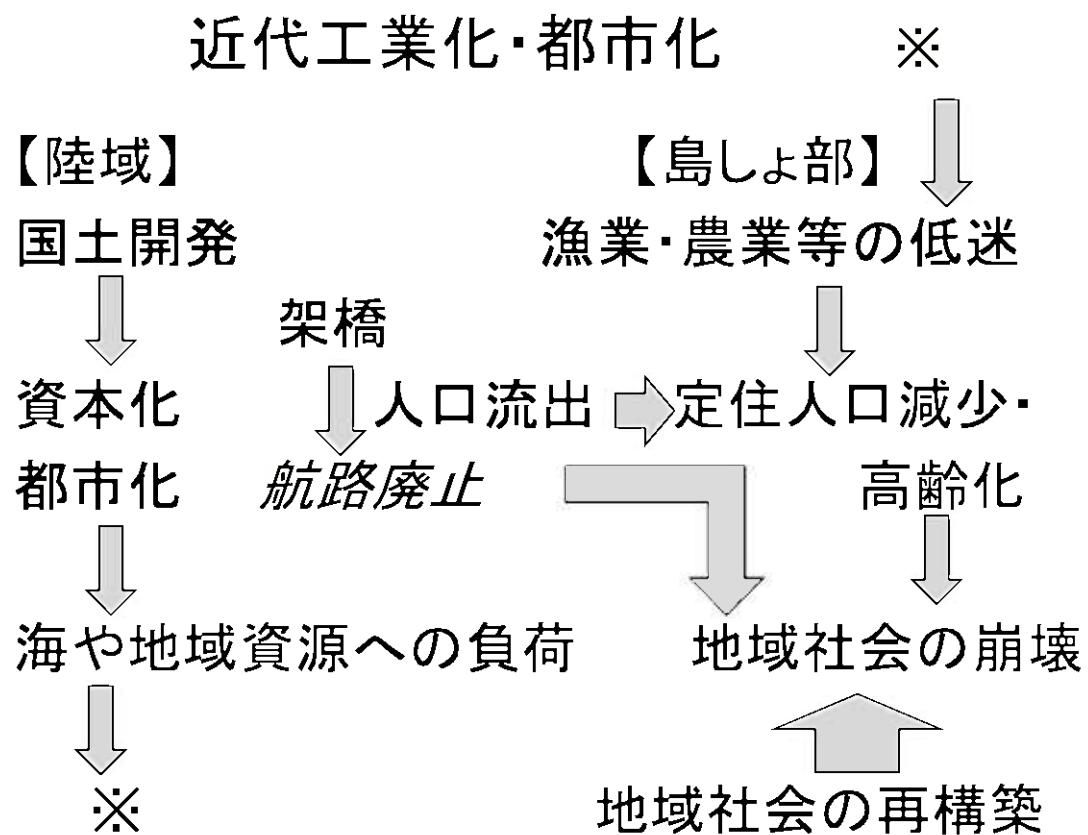
- ① 「新たな社会システムの構築」
 - =過疎化した島嶼部を活性化できる
新たな社会システムの構築
- ② エコツーリズム活動はどこまで貢献できる
のか?
 - =>過疎化した島嶼部を活性化
 - =>自然資源や文化資源の保全と継承

瀬戸内海では陸・島・海が一体



陸域における近代工業化

- ①山陽新幹線や山陽自動車道が建設、東西方向の基幹陸路が強化。
- ②瀬戸内海の沿岸は、重厚長大型の鉄鋼や石油化学、造船などの産業が集積、
- ③瀬戸内海はこれらの工業地域を結ぶ産業運河(東西方向の基幹海路)。
- ④臨海域における急激な産業集中と都市化、大規模な埋め立て、工場排水等により急激に公害問題が発生。



何が問題となっているのか

経済成長 → 安全性・利便性・快適性

効率性重視の地域開発
中央集権体制

地域格差・過疎問題

地域振興・環境対策
(エコツーリズムの貢献)

瀬戸内海再生を構想するために大事な視点

瀬戸内海の再生にとって大事な事項は、各地域において瀬戸内海の環境共生と地域共生を両立させることにある。

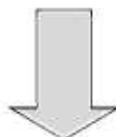
(参考)黒川紀章『共生の思想』

- ・共生とは、対立、矛盾を含みつつ競争、緊張の中から生まれる新しい創造的な関係をいう。
- ・共生とは、お互いに対立しながらも、互いを必要とし、理解しようとするポジティブな関係をいう。
- ・共生とは、いずれか片方だけでは不可能であった新しい創造を可能とする関係をいう。
- ・共生とは、お互いのもつ個性や聖域を尊重しつつ、お互いの共通項を広げようとする関係である。
- ・共生とは、与え・与えられる大きな生命系の中に自らの存在を位置づけるものである。」

瀬戸内海地域の再生のために大事な視点

各地域において

①「環境共生」と ②「地域共生」
を実現、そのための③ひとつくり



地域間の連携・協働の推進



④広域的な組織・制度の設計

① 環境共生

環境再生のために自然生態系の持続可能性の確保を前提とすること。環境共生とは生物資源の再生による生物多様性の回復、そしてそれによる滑らかで豊かな生態系を維持することであり、これは人間社会に健全かつ豊かな恵みを供給する「里海」の創造につながる。生態的経済学のアプローチやコモンズの考え方とも密接に関係している。

(参考)

- ①「生態経済学的アプローチ(Ecological Economics Approach)」においては、これまで人間活動による自然からの資源採取や負荷増大によって様々な環境問題を引き起こしてきたことに鑑み、自然生態系の回復こそが環境再生の原点であると認識し、この中では「受容量(Carrying Capacity)」と「回復力(Resilience)」のキーワードである。自然生態系の安定のもとでの人間の経済・社会活動が指向することを意味する。
- ②コモンズ(common)：共有地、私有化されておらず地域社会の共通基盤となっている自然資源や自然環境、それがおかれた諸条件のもとで持続可能なかたちで利用、管理、維持するための制度、組織のあり方。例えば、森林や漁場における入会など。

② 地域共生

地域共生とは地域の歴史・文化や自然環境に合った快適で暮らしやすい暮らしの実現であり、それを持続するためにはそれを支えるための地域社会の仕組み、即ち「社会的共通資本」の整備を、地域の協働体制のもとで推進することが重要。

(参考)

- ①社会的共通資本：「豊かな経済生活を営み、優れた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を安定的に維持することを可能とする社会的装置。これには、土地、大気、土壤、水、森林、河川、海洋などの自然環境だけでなく、道路、上下水道、公共的な交通機関、電力、通信施設などの社会基盤、教育、医療、金融、司法、行政などの制度資本を含む。」(宇沢弘文(2000)『社会的共通資本』)
- ②「地域社会を人間の生活の「場」として再生することが、地域社会の生産活動をも活性化させる。確かに、工業社会では生産機能が生活機能の磁場となって地域社会を発展させた。ところが、知識社会では生活機能が生産機能の磁場となって地域社会を再生させるからである。」(神野直彦(2003)『21世紀の都市』・94頁)
- ③「人間同士がいたわり合い、信頼しあうことができれば、人間と自然との共生も可能になる。(中略)人間同士が正直にいたわり合い、自然と共生できる社会を、人間の生活の「場」である地域社会を基礎に創ろう。そうした地域社会の再生なしには人間の未来はない。」(神野直彦(2002)『地域再生の経済学』184～185頁)

③ ひとづくりの視点

地域において主体的に環境問題に取り組む人を増やすことをねらいとして、日常生活において環境に触れ合う人を増やし、機会を増やすこと、参加を促すこと。この視点は、環境問題を解決するためにはそこで暮らしている人々が環境問題を自らの地域の問題として認識し、主体的な取り組みを促すことの重要性を意味する。例えば、次のような取り組みが求められる。

- (イ) 環境をもとに暮らしを支えているひと：漁業、観光業を営むひと、国立公園レンジャー
- (ロ) 環境と社会の一体化：環境教育・環境学習の展開、環境整備・対策への住民参加、海へのパブリック・アクセスの確保、島嶼地域の暮らしの維持、そしてエコツーリズムの推進。

広域的な組織・制度の設計の視点

環境問題を共有する人々が分野間・地域間の協働(パートナーシップ)のもと、個々の地域のみならず、広域な地域間連携のもとで面的な広がりをもつ海の環境対策に取り組むための組織や制度を整えること。

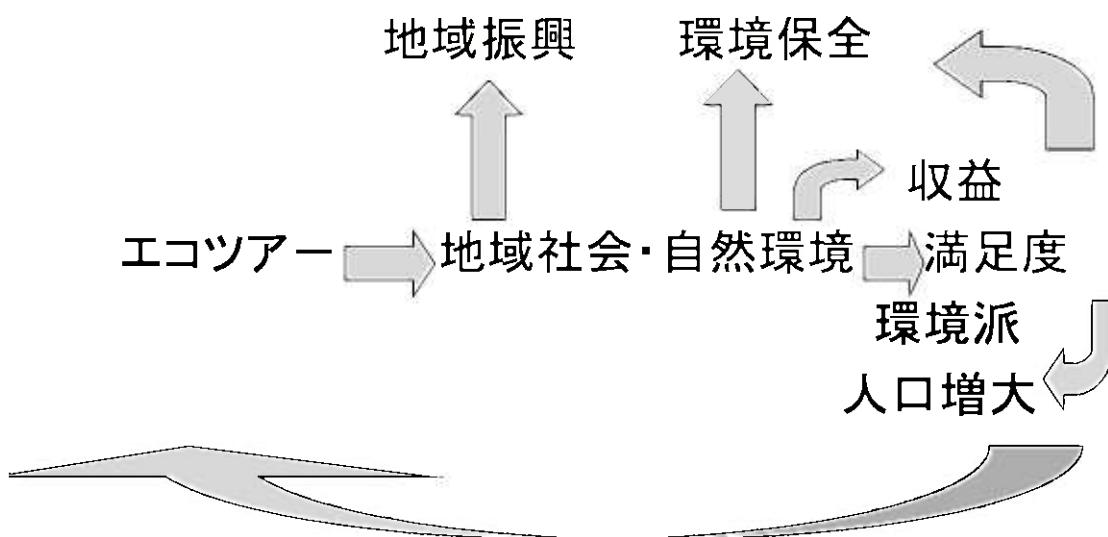
この視点は、これまでの国家主導の中央集権的な環境管理体制と異なった地方分権型社会においての地域間の協働体制の構築と展開のために効果的な組織や制度を検討することを意味する。

【エコツーリズム活動の貢献】

自然環境や地域の歴史文化の体験・学習を通じてこれらが大切と思う人々を増やすこと。

→自然環境の保全や地域振興への貢献。

そのために大事な3つの要件：



13

要件1 ビジネスとして成立できるか

【参加をよびかける人々のニーズに合致した取り組みとなっているか？】

- 追い風として、国内外のエコツーリズム推進の気運と制度作りはある。例えば、わが国では『エコツーリズム推進法』(2007)を制定。
- 地元住民の方々を含めて、エコツアーを担う人々が何らかの実質的な対価(金銭だけではない)が得られることが事業を継続させるためには必要、
- 現在、収益外事業であっても、エコツーリズムの進展によって需要増を見込んだ先行投資、
- 地域振興や環境保全といった公益性の実現をねらいとするため、寄付や公的資金の活用を検討。

14

要件2: 地域振興や環境保全につながるか

【地域住民が参加したくなり、参加できるような取り組みになっているか？】

- 地元地域の住民や団体は、地域の地域社会や自然環境を熟知し、これまでも暮らしの中で地域資源を継続的に利用、
- エコツアーの中に、地元資源の案内や解説をおこなうガイドや、自らの生活の延長として宿泊・飲食・移動・物販(土産)のサービス提供者として参画し、その収益も地元にとどまり地域振興にむすびつくこと、

15

要件3: 仕組みづくりとマネジメントがうまくゆくか？

- エコツアーの推進は地元の地域住民や行政が中心となり、地域外から専門家や旅行業や運送業などの民間事業者の参画を得ながらround-table styleの組織、例えば協議会をつくること。
- 協議会の運営においても、地元の地域住民や行政が主体となり、地域自らのことを地域自らの意思決定によって推進できる体制を整えること、
- 協議会は、地元地域の課題や自然環境の生態変化に合わせたエコツーリズムをマネジメントすること。
- その際に、地域内外から、歴史・文化や自然環境に関する専門知識を有する人材を活用すること。

16

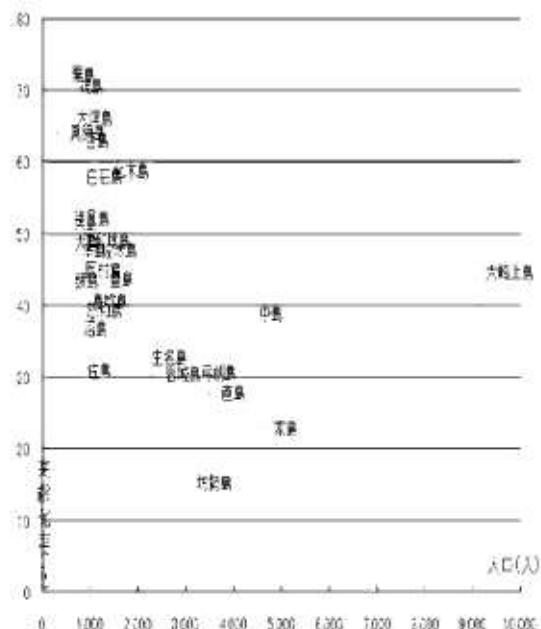


参考1 離島の現状と離島振興

離島の現状

離島の人口と高齢化率の関連

- 全国262島
⇒瀬戸内海離島数
114島
 - 人口100人未満の
島 49島
100人以上200人
未満 16島
1000人以上16島



離島振興の取り組み－これまで－

昭和28年 離島振興法の制度措置による地域振興

雇用機会創出、生活利便性向上を目的とした 公共事業・社会資本整備中心の離島振興

人口減少と少子高齢化の進行
地元産業の衰退による本土との地域格差の拡大

集落の崩壊懸念、
活動路の廃止や縮減

参考2 地域経済振興の方法

島嶼部が抱える問題

地域資源の限定＝食料不足→居住人口の限定

食料<人口の場合

- (1) 人口減少 ← 国内外への出稼ぎ・移住
- (2) 食料増加

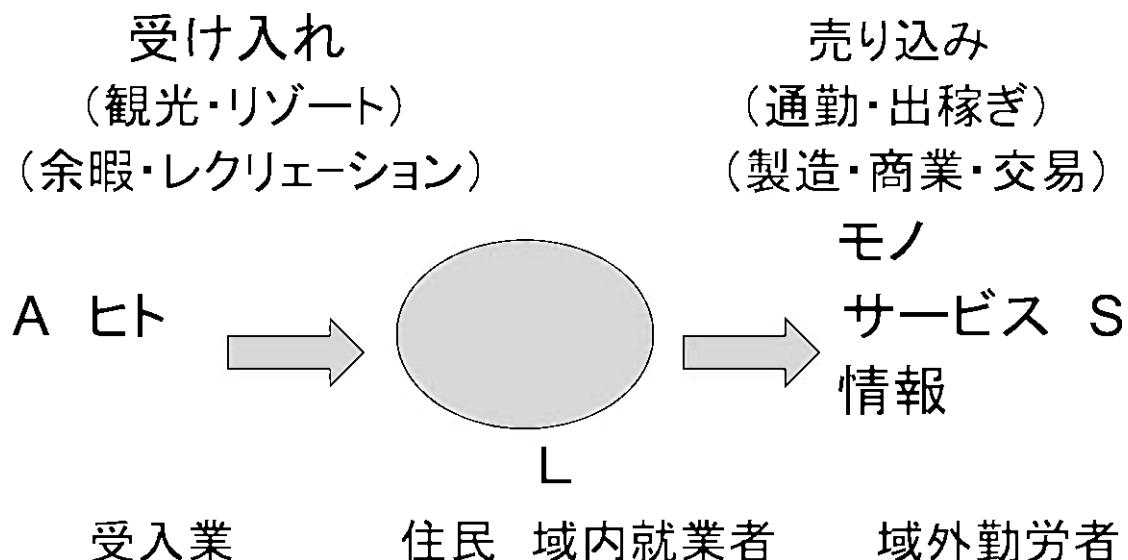
← 新たな発見・創造

① 地域外からの所得確保(商品の生産)

② 地域内での食料増産

(例)さつまいもの生産(18～19世紀)

地域所得の獲得方法



23

地域振興のための方策

方向1:

- 地域外からモノ・サービスは極力買わず → 地域資源の活用
- 地域外にモノやサービスを多く売る → 地元産業の振興・創出、観光事業(集客)

方向2:

- 貯めたお金は外に出さず(地域内で資金運用は可能か?)
- 外からお金が投資されるようにする → 工場誘致、観光開発

方向3:

- 他地域からのお金の移転 → 年金、仕送り、公共事業、寄付

24



瀬戸内海国立公園指定80周年に向けて

この10年間と今後の課題 2014. 3. 8

瀬戸内海エコツーリズム協議会顧問
市原信男

2013/9/6 - 3/8
高松上空から備讃瀬戸

説明概要

(上嶋先生からのご質問を踏まえ)

1. 指定から80年経過した国立公園の総括とそこから見える課題

- ・H18年中央環境審議会での瀬戸内海状況説明
- ・市民、NPOの把握、協働型管理運営
- ・マスコミの協力
- ・中国経済連合会による提言など
- ・具体的な課題

2. 瀬戸内海国立公園の活用のあり方

- ・三陸復興国立公園(みちのく潮風トレイルなど)
- ・長距離自然歩道と瀬戸内しまなみトレイル
- ・利用拠点を基地として、利用手段の組み合わせ
- ・瀬戸内海エコツアーパッケージの提案
- ・先進地事例(チャンネルアイランド国立公園、大雪山国立公園など)

3. 国立公園内におけるエコツーリズム

- ・ジオパークの考え方の取り入れ
　ジオエリア、ジオサイト、ジオポイント(スポット)、ジオガイド、ジオツーリズム
- ・第1回アジア国立公園会議でのエコツーリズムのとらえ方

結論：瀬戸内海国立公園エコツーリズムの活性化(提案)

- ・瀬戸内海国立公園は、とにかく広い
大雪山国立公園の約4倍、グランドキャニオン国立公園の約2倍
その9割が海及び島嶼部で、多島海景観(視対象)を構成
ヒューマンスケールを超える大地形・大景観
- ↓
- ・まず、それを意識しつつ
- ↓
- ・その中に多面的で多様な自然・文化や海の幸・恵みがつまっているところ、だからどこをとってもエコツーリズムフィールドで
・できるところで、できることをする、そしてそれらをうまくつなぐこと
・交通中心拠点を基地として、利用範囲の地元の協力を得て
・船、車、自転車、徒步等利用手段も組み合わせること
- ↓
- ・瀬戸内海エコツアーパッケージの開発・提案
・民間企業、地元市民及び行政の協働型運営が必要

瀬戸内海におけるNPO等の活動と支援

瀬戸内海のリフレッシュに向けて各主体の取り組みをつなぐ



中環審 瀬戸内海部会

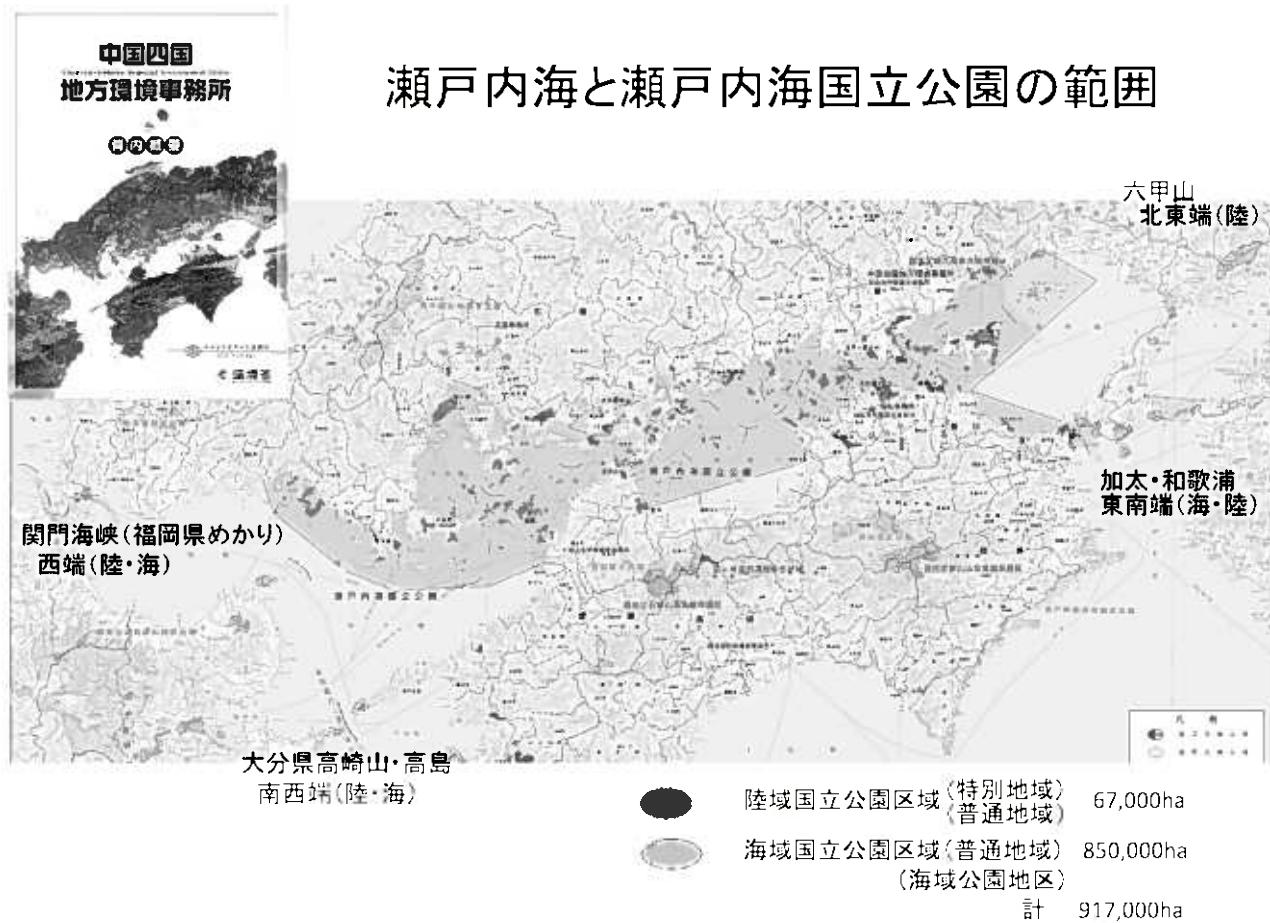
平成18年12月5日

中国四国地方環境事務所



まとめ及び直近の課題(H18)

- 主体をつなぐ・地域をつなぐ・施策をつなぐ
　プラス 世代をつなぐようなパートナーシップ形成を発展
- そのためには、瀬戸内海1千万人(流域3千万人)の方々がもっと誇りと愛情・愛着をもって取り組む必要
- 行政はそれに対して更なる支援を
 - ↓
- これを「瀬戸内海方式」として定着させ
 - ↓
- さらに、各種計画や制度等に反映を検討
 - ↓
- 行政機関やNPO等は、連携・協働して、これに 対処する方向で調整できるかが問われているのでは



瀬戸内海国立公園指定70周年記念のつどい

活動事例報告・提言集

(瀬戸内海国立公園のリフレッシュに向けて各主体の取り組みをつなぐ)



瀬戸内海国立公園
指定70周年

2004. 5. 30

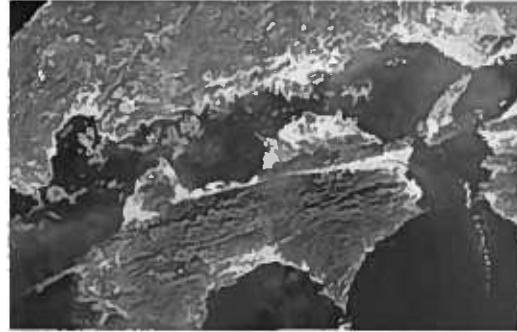
環境省山陽四国地区自然保護事務所
協働:(財)おかやま環境ネットワーク



瀬戸内海国立公園のリフレッシュに向けて

各主体の取り組みをつなぐ

「瀬戸内海国立公園指定70周年記念のつどい」記念誌



平成16年(2004年)6月

収録された報告・提言の団体とその内容

80団体(NPO、企業、学校、研究機関
漁協、経済団体、自治体、国機関)

自然保護・景観保全 太字 文部省発表会での発表団体

- 明浜の海岸植物保護・普及啓発
- 東北地方での植樹活動
- みどり再生ネットワーク支援
- 自然保護全般
- カブトガニ調査・保護活動(笠岡)
- カブトガニ調査・保護活動(竹原)
- 沿道の保全管理
- 沙東海岸の砂浜保全
- 六甲山の里山管理
- 六甲山の里山管理
- 鹿子沼の白砂青松保全
- 洲本成ヶ島の潮干植物保全・鳥ゴコロ対策
- 宮島の森林管理支援
- 森砂採取禁止提言
- 礁の観察会等
- 竹原芦川の河川管理
- 小豆島上陸のウミガメ保護・観察
- 野呂山の活動交流
- 自然保護全般
- 瀬戸生物調査保全
- 宮島保全管理全般
- 宮島野生シカの調査
- 宮島千年の森づくり
- 自然景観・文化景観の保全

美化清掃

太字 文部省発表会での発表団体

- 瀬戸内海の海岸清掃会
- 大草花の会
- 大多府町内会
- 大塚鳴門開拓株式会社
- 岡山市環境課課員
- 香川県勤労者山岳連盟
- NPO法人 グリーンパートナーおかやま
- 財団法人自然公園財団鳴門支部
- 瀬戸内の環境を守る連絡会(瀬戸環境)
- 瀬戸内海の路ネットワーク推進協議会
- 兵庫県立芸術高等学校
- 兵庫県勤労者山岳連盟
- 広島商船高等専門学校

水質保全

- 水質研究・捷言会
- 児島湾水質保全
- 水関係イベント
- 水環境浄化・修復
- EM普及

環境保全会

太字 文部省発表会での発表団体

- 瀬戸内海環境保全般
- 大久野島歴史遺産保全・提言
- 瀬戸内海改修提言
- 瀬戸内海改修提言
- 瀬戸内海改修提言

環境教育

太字 文部省発表会での発表団体

- ボランティア支援
- 各種環境活動の支援
- 山火事研究・教育
- 観察会開催講師
- 三原地区調査・イベント開催
- 六甲里山管理プログラム
- 海岸イベント開催
- 五色台地区各種イベント開催
- セミナー開催ほかネットワーク形成
- 観察会開催講師ネットワーク
- 瀬戸内海世界遺産提唱
- 広域各種イベントネット
- 平和と環境教育提携・実践
- 太田川と海とのつながり調査と実践
- 子どももバーカレンジ育成
- 生田川、布引・市ヶ原クリーンハイク
- 海藻等調査・マップ作成

産業全般

太字 文部省発表会での発表団体

- 沿岸域連携ビジョン検討
- 中国経済連合会

観光

- 瀬戸内海意識アンケート調査
- 笠岡諸島の活性化
- 自然ふれあい活動
- 瀬戸内航路の活性化
- 周遊観光ルートの開発
- 因島の活性化
- 地域美化清掃
- 各種イベント開催
- 水草・潮流体験の推進
- 船内での風景解説実施

漁業

- 赤潮調査研究
- 瀬戸内海回収・漁場育成
- 瀬戸内海回収・処理
- 漁場再生
- 瀬戸内海回収・処理

2003年8月24日～10月27日



- ◆年表◆瀬戸内海をめぐる主な動き
- ◆図解◆カブトガニの生活史
- ◆年表◆環境修復に向けての主な動き

【社説】「里海」の瀬戸内 工業地帯と向き合え

2003.8.24

1. 改善と停滞 一恵み再生 人が耕す 2003.9.8
2. カブトガニ 一太古の姿 環境の指標 2003.9.15
3. 資源回復 一「恵み育てる」模索続く 2003.9.22
4. アサリ 一「成育の畑」干潟細る 2003.9.29
5. 環境修復 一流入有機物の1割浄化 2003.10.6
6. 海砂採取の傷跡 一海砂採取 癒えぬ傷
2003.10.13
7. 森・川・海 一帰って来い 天然アユ 2003.10.20
8. 海を身近に 一われらの渚 變化見守る
2003.10.27

総 目 次

平成16年度
新聞協会賞候補作品[企画]部門

(抜粋)

2004.1月～7月

海・人・未来 よみがえれ瀬戸内海

第1部 食 が 語 る.....	連載9回	1
第2部 水 が 語 る.....	特集	
	連載13回	12
第3部 風 景 が 語 る.....	特集	
	連載13回	26
第4部 鳥 が 語 る.....	特集	
	連載14回	40
第5部 墓 め 立 て.....	特集	
	連載10回	55
第6部 明 日 を 語 る.....	連載8回	66
連 載 を 終 え て.....	2回	75

- ◆関連特集 1月1日付(年頭特集)
3月17日付(瀬戸内海国立公園
70周年記念シンポジウム)
3月18日付(写真グラフ)
6月7日付(よみがえれ瀬戸内海
シンポジウム)
6月24日付(写真グラフ)

今後の方向性について1

瀬戸内海国立公園の現状と課題調査
報告書：概要版

今後の方向性

区域指定 標識地（目的別）
・国立公園区域の見直し
例)自己保護のために指定する場所、
自然保護のために指定する場所、
眺めが良い場所など「目的別の区
域の創設」など

情報発信 標識地（ミシュラン）
・情報発信・PR
例)多島海が美しい景観地を特付け
した「景観地ミシュランの作成」な
ど

利用 利用（眺望）（眺望）
・眺望を楽しむ場所としての整備
例)眺望を妨げている樹木の伐採や
東屋などの魅力的な展望場所の
整備などによる「眺望を楽しむ場
所の整備」など

保全 保全（カルテ）
・守るべき自然・景観のカルテづくり
例)沿岸域のモニタリング調査などに
より、瀬戸内海沿岸の地区毎に保
持と方針をまとめた「カルテ作成」
など

地元管理 地元（体制整備）
・地元が愛着を持って管理
例)各地区の地元団体・人材の把握、
地元の意識の向上により、地元に
管理体制を設置する「地元管理組
は認定制度」など

利用 利用（体験）（体験）
・体験施設の整備、文化・芸術の承
認)ビジターセンターなどに常時インク
ーブリターと接続し、地元の小・中
学生の自然学習に利用するなど、
エコプログラムの開発の創出」など

提言項目
～より愛され・親しまれる“瀬戸内海国立公園”の実現に向けて～

1. 瀬戸内海国立公園の景観地利・活用のための調査について
2. 瀬戸内海国立公園の自然環境と景観の保全について
3. 瀬戸内海国立公園に誇りと愛着を育てる取り組みについて

平成18年1月
中国経済連合会

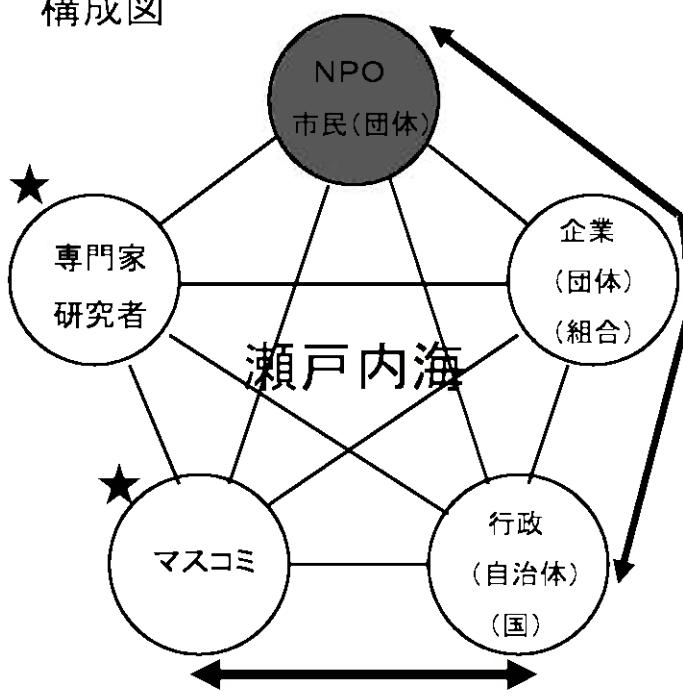


今後の方向性について2

瀬戸内海環境保全のための各主体による

連携・協働（パートナーシップ）

構成図



各主体の機能・特性

※NPO・市民(団体): 現場活動
ネットワーク
政策提言

※専門家・研究者: 調査研究
教育・普及
政策提言

※企業(団体・組合): 事業参画
政策提言

※マスコミ: 情報収集・取材
普及啓発、評価
政策提言

※行政(自治体・国): コーディネート・活動支援
(活動費助成、交流支援等)
政策策定・実施

瀬戸内海国立公園指定70周年からの具体的施策

①展望地の再生

- ・展望地一斉調査(カルテ作成)の開始
 - ・グリーンワーカー事業等による展望地再生の推進
 - ・地元NPO等による管理体制の構築
 - ・国立公園管理計画等への組入れ

②海底ゴミ対策

- ・専門家、NPO、漁協、関係機関等による円卓会議及びWG検討

③基礎調査資料の充実

- ・瀬戸内海沿岸長期モニタリング3000の開始
 - ・自然環境基礎調査等の推進

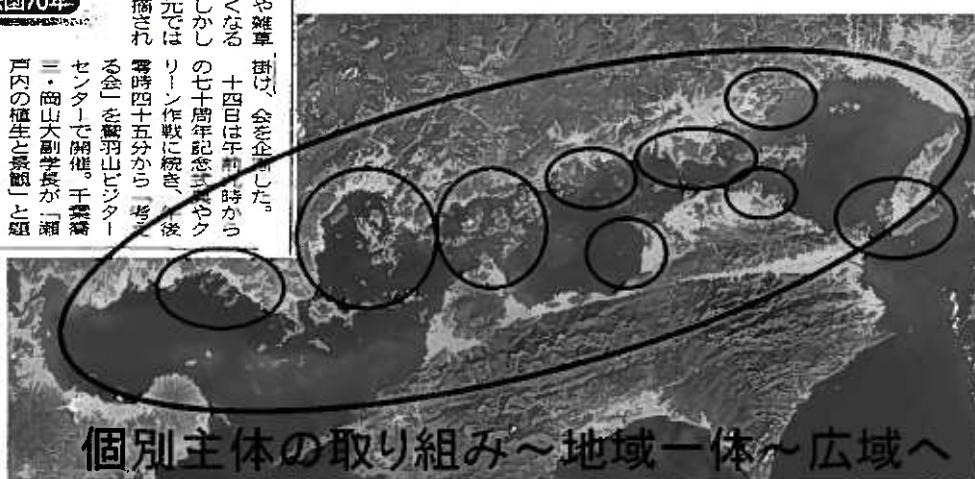
④エコツーリズムの推進

- ・素材探索・取材、試行(豊島、大久野島)、活動事例発掘・紹介
 - ・各種団体等の協働と支援、ネットワーク

2004年(平成16年)3月7日 日曜日 山陽



瀬戸内海〇〇〇〇





前



展望の改善

後



園路沿いもすっきり

118

2004年(616号)3月6日 土曜日



鶯羽山 よみがえた多島美スボット

政治小説の歴史

木の伐採作業が行われ、
備後朝日町部の多處で
倒木がよみがえった。隣
県道が因山県内で通行
不能地帯生産の第一

環境省は、也治本とも
協力しながら教科書をつくり
て、昭和28年1月に『新日本地図』
(国立公園の概要図) (二十一
カ所) を発行(140万部)。
作業を完了した山野ア
ループ・下津井を走るル
ート全般の東京一円を

卷一 七七 七五 17.3.21

70周年機に官民始動

伐採進ぬ管理計画見直し

解説

整う基礎資料 官民で生かせ

ズーム 魚類内海 細竹水道、閨門海峡、赤尾
水道で隔てられた内海。1934(昭和9)年に瀬戸内海を中心とした最初の國立公園に指定。東西約400kmの延長は日本最大で最長となった。指定されている島の数は約530で、瀬戸内海にある島の約80%以上。11府県にまたがり、沿岸の人口は約300万人。



われていた海砂採取が愛媛県を最後に、今年四月から全面禁止となつた。これを受け、〇八年度から、今後五十年、百年のレベルで生態系や標的生物の研究にも着手。同事務所や広島工大、愛媛大など六機関・団体が連携し、沿岸域、海域、島が多い。調査結果を活用して、将来の福岡内海の状況把握、海底地形、地質観や自然環境保護に、

地域連携

質の変化、生物、視覚的などの観点の評価など、さまざまな観点から将来自らが生じる方策を探っていく。沿岸域の人たちなど海に直接かかわる住民だけではなく、山間部を含めた全員の人々の参加を促す。このような施策も必要だろう。

地域連携

中学生への魅力継承に向
けた取り組み充実などを
評えた。その中で、同会
は湖内海を「世界に誇
ることができる」と位置
づけている。
国立公園指定七十年を
迎えた〇四年に、行政機
関や民間団体や研究者の
ネットワークができ、保
護機運は盛り上がりを風
せた。その灯を消さない
ためにも、官民一体とな
った活動が期待される。

「解説＆主張」
ご意見、情報を
のページについて、ご意見や情報を
お寄せください。〒700-8734(住所不變) 山陽別聞解説委員室。
ファックスは086-(245) 5296。メールアドレスは kaisetsu@sanyo.oni.co.jp です。連絡
方法はてて来るだけ記してください。

砂浜変化調査（全国1970→2000年代）

H22 広島県
H23 大阪府、兵庫県、岡山県、山口県、大分県
H24 徳島県 H25 香川県
化状況把握調査業務
H26 愛媛県、福岡県

干潟変化調査（瀬戸内海H10→H18）

平成18年度環境省請負事業
平成18年度瀬戸内海干潟実態調査

報告書



平成24(2012)年3月

招 告



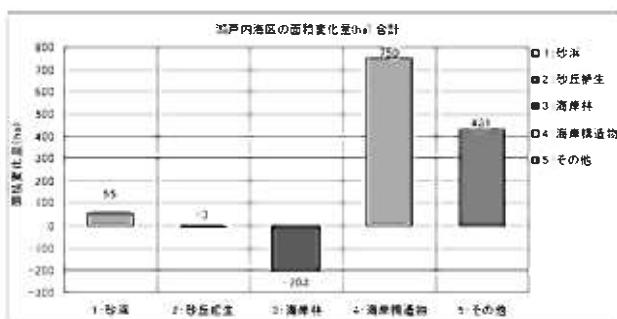
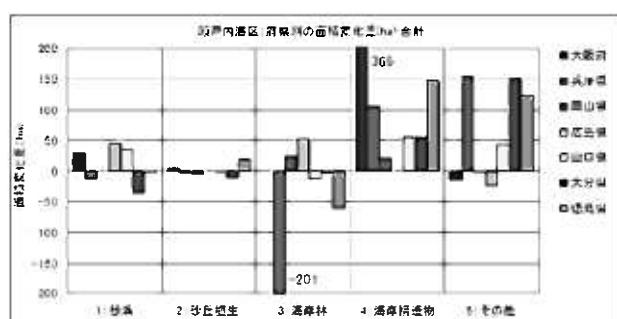
平成19年 3月

環境省水・大気環境局
アジア航測株式会社

環境省自然環境局生物多様性センター
アジア航測株式会社

集計単位	前回(1995) 面積(ha)	今回(2006) 面積(ha)	増減(ha)
福岡内海全域	11691.8	11991.3	298.5

砂浜変化調査 (全国1970→2000年代 のうち瀬戸内海区集計)

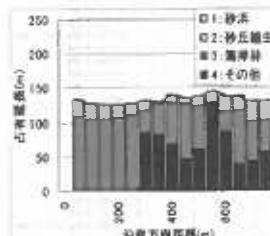


(例) 宮島 包ヶ浦地区

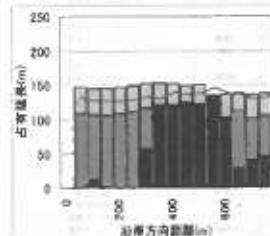
①包ヶ浦地区
包ヶ浦地区は宮島の北東部に位置する延長約0.7kmの海岸である。海岸の変化要因はタイグラフであり、打線は全域で推進している。海岸林は全く見られないが、変化は少ない。



1970年代(1973年)



2000年代(2006年)



1970年代汀線

図 3.3.86 土地利用変化(包ヶ浦地区)

瀬戸内海干潟分布現況及び変化状況マップ(平成18年度) 例: 宮島



三陸復興国立公園の創設

Establishment of the Sanriku Fukko National Park



これからの国立公園に求められていること
What is asked of future national parks (2)

②利用の増進 Promotion of use

周遊型観光
Round-trip style tourism
団体旅行
Group tour

自然や文化に深くふれる体験型・滞在型の利用
Experience-based or stay-based use, engaging with nature and culture
エコツーリズム
Eco-tourism

これからの国立公園に求められていること
What is asked of future national parks (1)

①自然環境の保全 Conservation of natural environments

原生自然の保護
Protection of primeval nature
大規模な開発から守る
Protection from large-scale development

生物の多様性や文化も対象
Covering biodiversity and cultures
里山や里海の保全と活用
Conservation & use of satoyama/ satoumi
自然や風景の再生・修復
Restoration of nature and landscapes

これからの国立公園に求められていること
What is asked of future national parks (3)

③国立公園の管理 National Park Management

国自らの管理
Government-led management
行政主導の管理
Administrative Authority-led management

地域の人や利用者との協働
Collaboration with local people and users
豊かな地域づくりとの連携
Partnership with development of an affluent region



The Michinoku Coastal Trail

- 「みちのく潮風トレイル」は、自然環境、地元の生活、震災の遺構などをつなぐ
- この新しい長距離自然トレイル(約700km)は、災害からの復興のシンボルとなる
- トレイルは、徒步による利用者に地域の環境や歴史文化をより深く学び、体験する機会を与える
- 地域の協力関係を築き、地域の活性化に寄与する



長距離自然歩道(中国地方)

中国自然歩道

中国自然歩道について

中国自然歩道は、中国5県を一周する総延長約2,303kmの長距離自然歩道です。中国地方に残された美しい自然の中を、自分の足でゆっくり歩いて豊かな自然の営みにふれ、また郷土の歴史や文化遺産を訪ねることにより、心身の休養と自然やふるさとへの理解を深め、あわせて体力づくりに役立てるためにつくられたものです。

歩道のルートは、国立・国定公園、県立自然公園や史跡・名勝・天然記念物・由緒ある社寺など、その地方の特色ある場所を通るように結ばれ、急な坂道や平坦な道など、変化に富んだ組合せになっており、これらの自然や歴史、文化を四季を通じて探勝することができるようになっています。

歩道には、利用しやすいように指導標や案内板のほか、動植物や文化財の解説板も設けられています。何日もかけて歩いたり、あなたの体力や余暇時間にあわせ、好きなコースを半日、または1日かけてハイキングするといった楽しみ方もできます。

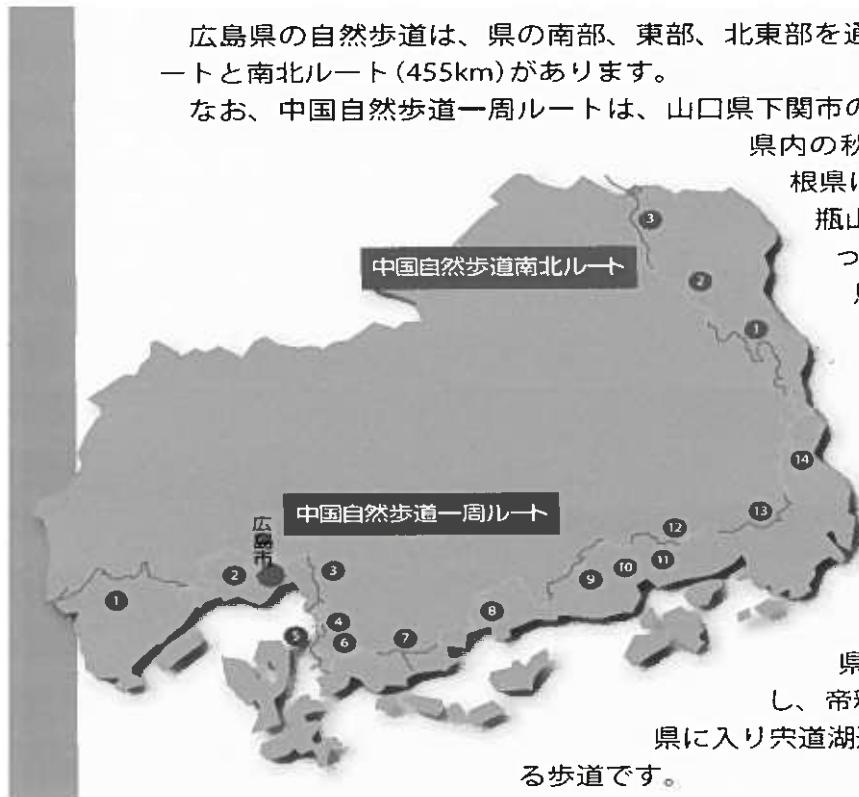


上のルート図をクリックすると
各都県のコース一覧が表示されます。

長距離自然歩道(広島県内)

広島県の自然歩道は、県の南部、東部、北東部を通る中国自然歩道の一周ルートと南北ルート(455km)があります。

なお、中国自然歩道一周ルートは、山口県下関市の火の山を起点とし、山口県内の秋吉台、長門峡を経て、島根県に入り、山陰路を浜田、三瓶山、出雲大社、美保関を通って鳥取県に入り、大山、鳥取砂丘を通って岡山県に入り、八塔寺、旭川湖を通して広島県に入り、山陽路を山野峠、佛通寺、野呂山、極楽寺、羅漢山を通って山口県に入り、山口市を通って秋吉台から下関の火の山に至る歩道です。また、中国自然歩道南北ルートは、広島県福山市の山野峠を起点とし、帝釈峠、吾妻山を経て、島根県に入り宍道湖近くの一周ルートにつながる歩道です。



今治から尾道まで約70km、走ってきたよ。
サイクリング参考タイム

今治在住のやる気はあるけど体力に自信がない30代が無事、尾道までサイクリング実行!
レンタサイクルを尾道で乗り捨て、帰りはバスという片道の旅。

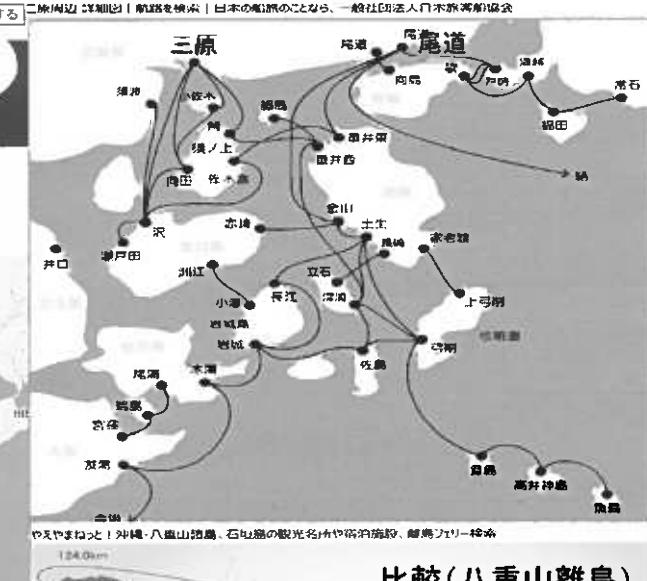
時間割など参考にしてみてください。

▼地図上のマークをクリックすると、休憩ポイントと到着時間が表示されます。



交通中心拠点を基地として、利用範囲の地元の協力を得て、船、車、自転車、徒歩等利用手段も組み合わせる

©2014 Google
データ ©2014 Google, ZENRIN



比較(八重山離島)



多様なツアー要素のパッケージ化の例

それは、西にある。

**DISCOVER
WEST**

DISCOVER WEST とは数多くの歴史文化遺産と美しい自然に恵まれた西日本エリア。
そこで見つかる、いい日本、いい自分の時間を発見していく旅の提案です。



モデルコース 1日目

6:30 → JR 東京駅 発

JR新幹線のぞみ号で3時間30分

10:15 → JR 福山駅

徒歩で

10:40 → JR 福山駅前
(レンタカーを借りる)

西海岸道路により西瀬戸自動車道(しまなみ海道)車で40分

11:30 → 生口島北 IC

車で50分

11:40 → 濑戸田町観光案内所
(レンタサイクルを借りる)

自転車で1分

www.jr-odekake.net
JRおでかけネット

JR四国サービスセンター JR東海ツアーズ

日本旅行

JTB



US Channel Islands NP (パークレンジャーとコンセッショナーによる インターPRIテーション)



パートナーシップ方式による協働型管理運営



Channel Islands NP
のインターPRIテーション
プログラム



本土にビジャーセンター
(パークゲートステーション)



船上でのコンセッショナーによる解説



大雪山エコツーリズムの取り組み(ロープウェイ姿見の池駅舎内)

Daisetsuzan National Park

北海道最高峰旭岳の姿見園地を
ネイチャーガイドと
楽しく歩こう

開催日 2013/7/6(土)~9/23(月・祝)

7月土日のみ
申込受け付けてます。

7月	8月	9月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13	8 9 10 11 12 13	8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20	12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20
21 22 23 24	10 11 12 13 14 15	22 23 24 25 26 27
28 29 30 31	26 27 28 29 30 31	29 30

7月はお花畠
8月はしつり
9月は紅葉

白い鳥のふわふわらしいチップルマ
の新着(例年、中旬~下旬まで伸び
ます。土日のみ申込受付)申込先
は神奈川県の草津町が抜かりず
販賣しております。

料 金 おひとり様 1,000円 (小学校以上)
各ロープウェイ乗車に、各自券料は含まれません

出発時間 6:15(7月土日のみ) / 10:00 / 13:00

集合場所 東岳ロープウェイ「姿見の池駅」駅舎内 (東岳ロープウェイの上の駅)

定 員 10名(先着順)

申込方法 事前予約 090-3890-2291(9:00~19:00)
△おもと自然の森の新着(例年、中旬~下旬まで伸び
ます。土日のみ申込受付)申込先
は神奈川県の草津町が抜かりず
販賣しております。

お問合せ先 「東川エコツーリズム推進協議会」
北海道上川郡東川町茅町1-16-1 旭川空港から車で約10分
電話 090-3890-2291(9:00~19:00)
東川エコツーリズム推進協議会 Facebook 「いいね！」してください

東上川
川内郡
町

日本のジオパーク指定状況

世界ジオパーク - 6地域

洞爺湖有珠山 糸魚川 山陰海岸 島原半島 室戸
棚ヶ崎

日本ジオパーク - 27地域

アポイ岳 南アルプス 恐竜溪谷ふくい勝山 阿蘇
天草御所浦 白浜 伊豆大島 露島 男鹿半島・大潟
磐梯山 茨城県北 下仁田 犀ヶ岳 白山手取川
八峰白神 ゆざわ 錦子 箕根 伊豆半島 三笠
三笠 佐渡 四国西予 おおいた姫島
おおいた翌後大野 桜島・錦江湾 とかち鹿追

ジオパークを目指す地域 - 16地域

下北半島 薩摩山麓 戒王 筑波山地域
古関東深海盆 姫恋村 苗場山麓 立山黒部
奥飛騨温泉郷 南紀熊野 いづも 美祢 北九州
天草 三島村 本部半島

JGN名簿 - 2013年12月27日更新

JGN構成市町村数 - 2013年12月16日更新

日本地図を非表示

ジオパーク名を非表示





02/04 情報コーナー: 第3回JGN全国研修会報告書を追加

[ホーム](#) [各地のジオパーク](#) [おおいた姫島ジオパーク - 日本ジオパーク](#)

おおいた姫島ジオパーク

大分県姫島村

面積: 約700ha

人口: 約2,000人

観光交流人口:

約40,000人/年

日本
ジオパークマップ

ジオパーク一覧
都道府県から

おおいた姫島ジオパーク
WEBサイト

紹介・おすすめジオサイト 据点施設・情報 概要

おおいた姫島ジオパーク



おおいた姫島ジオパークは、国東半島北部の周防灘に浮かぶ火山島で、中央部の中央丘陵地域、その西部の中央低地地域と矢筈岳や連磨山などの火山地域に地形区分されます。

姫島は、古事記の「国生み」にも登場する島で、島にはそれらの伝承に関連する遺産や、鎌倉時代に端を発する念仏おどりを起源とする「きつね踊り」「あや踊り」などの盆踊りが守り継がれています。

瀬戸内海国立公園の当初指定の区域とその意図 (S9.3.16) 備讃瀬戸(展望地及び多島海景観や鼻)



瀬戸内海国立公園の第1次拡張の区域とその意図(S25.5.18)



アジア保護地域憲章(抜粋)2013. 11. 17 第1回アジア国立公園会議より

持続可能な観光および環境教育と持続可能な開発のための教育

保護地域は観光や教育の機会を提供し、自然是人間の保健や福利に資するものである。保護地域は、地域の人々やビジネスに利益をもたらすエコツーリズムの資産として社会の福祉にも貢献する。アジアの生活ペースが加速し、より多くの人が都市に住むようになる中、保護地域は、人々を自然のリズムに合わせる寛ぎの場としてますます重要になっている。

保護地域は、美しい景観、豊かな生物多様性、および地域文化や伝統を有し、魅力的な観光地となる。保護地域における観光は、持続可能かつ責任ある推進を通じ、観光客、管理者、地域住民や、企業、その他の利害関係者にとって積極的な参画の機運を醸成する機会となる必要がある。環境教育と持続可能な開発のための教育は、保護地域の自然・文化の価値へ触れるに役立つ。

WG2 保護地域における観光・環境教育

【背景】 メッセージ（概要）

- アジアでは観光分野の市場が急速に成長中。
- 適切な計画・管理の下で行われる観光は保全及び地域住民の双方に様々な恵みをもたらす。計画性のない観光活動は、保護地域に悪影響をもたらす。
- 環境教育は保護地域における保全の強化にとって重要な要素である。

【推薦事項】

1. 保護地域の使命は、自然及び生態系サービス、そして文化的価値の保全であり、観光はその役割と矛盾しないこと。
2. 保護地域における観光は、負の影響を最小化し、利益の最適化を追求すること。
3. 環境保全のため観光産業用のガイドラインや行動規範、憲章の策定と利用を推進すること。
4. 観光産業、関係者と協働し、観光による利益の公正かつ適切な配分を実現すること。
5. 地域社会内や多様な関係主体間の協力的なパートナーシップに基づいて参加型の観光開発を行い、地域への誇りやアイデンティティを醸成すること。
6. 保護地域の自然的・文化的価値を尊重する観光体験や環境教育（特に若者を対象）を支援すること。
7. 環境教育等の強化に最新の情報通信技術（ＩＣＴ）を活用すること。
8. 政府は保護地域への職員配置及び資金手当に係る責務を果たすこと。
9. 保護地域とその周辺における倫理的で持続可能な観光に関する共同研究や開発への投資をすること。

ご静聴ありがとうございました



自然海浜(写真撮影:脇山功さん)



よみがえれ瀬戸内海！

写真:豊島の不法投棄現場沿岸によみがえったアマモ大群落(H16当時)

写真提供:山陽新聞社瀬戸内海取材班

里海づくりとエコツーリズム

2014年3月8日
中国新聞編集局
山城 滋

瀬戸内海地域 産業、島の人口の変遷

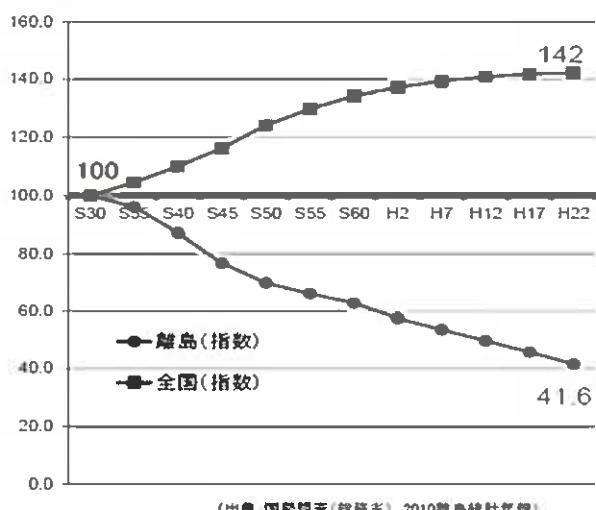
<戦後期> <高度成長期> <グローバル化>

- ・農、漁、塩→沿岸の工業化→一部で空洞化も
- ・島は過密→人口流出→超高齢化、人口急減

離島の人口減少

- 昭和30年から平成22年までの人口の推移をみると、全国の人口は約4割増加している一方、離島の人口は5割以上減少している。
- 離島の人口は自然減少率よりも社会減少率の方が高い傾向にあるが、近年その差は縮まっている。

【離島の人口の推移(S30～H22)】

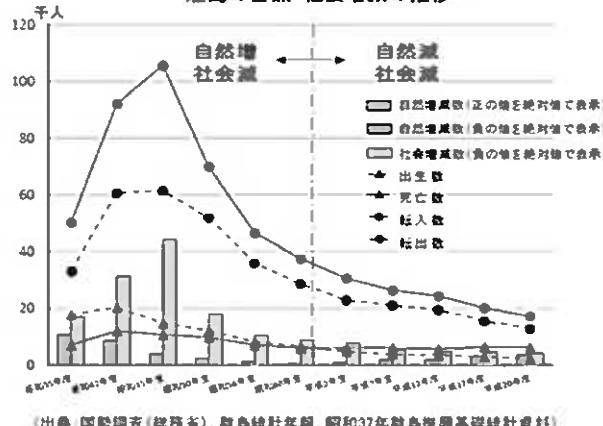


【離島と過疎地域等の人口推移の比較(H17-H22)】

	離島	過疎地域	全国
人口の増減率(H17-H22)	-9.1%	-7.1%	0.2%

(出典:国勢調査(総務省), 離島統計年報)

離島の自然・社会増減の推移

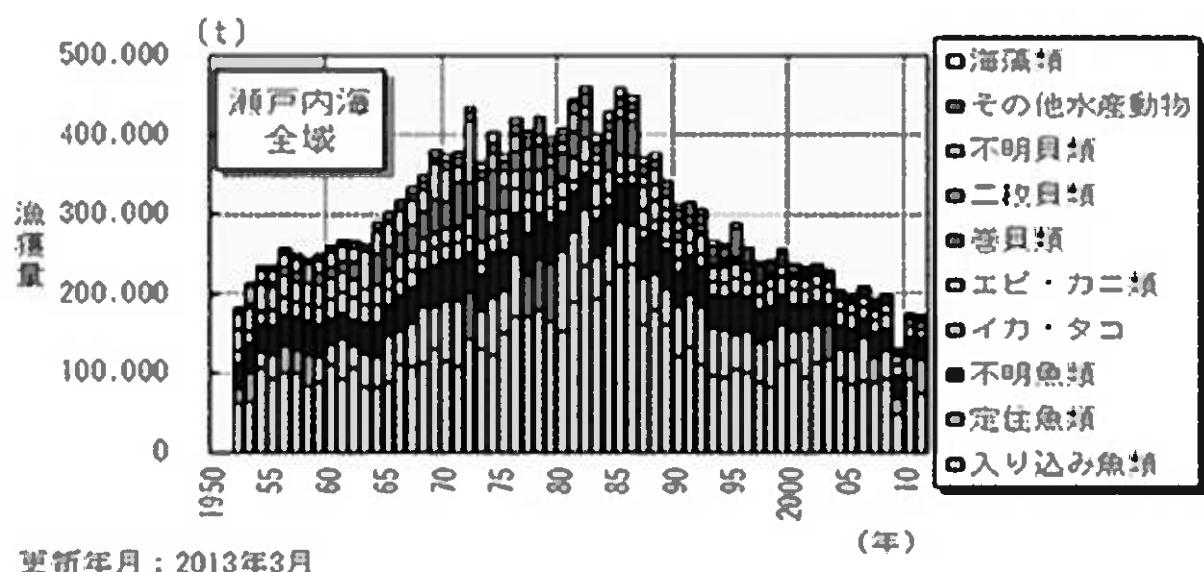


自然、水質、漁業の変遷

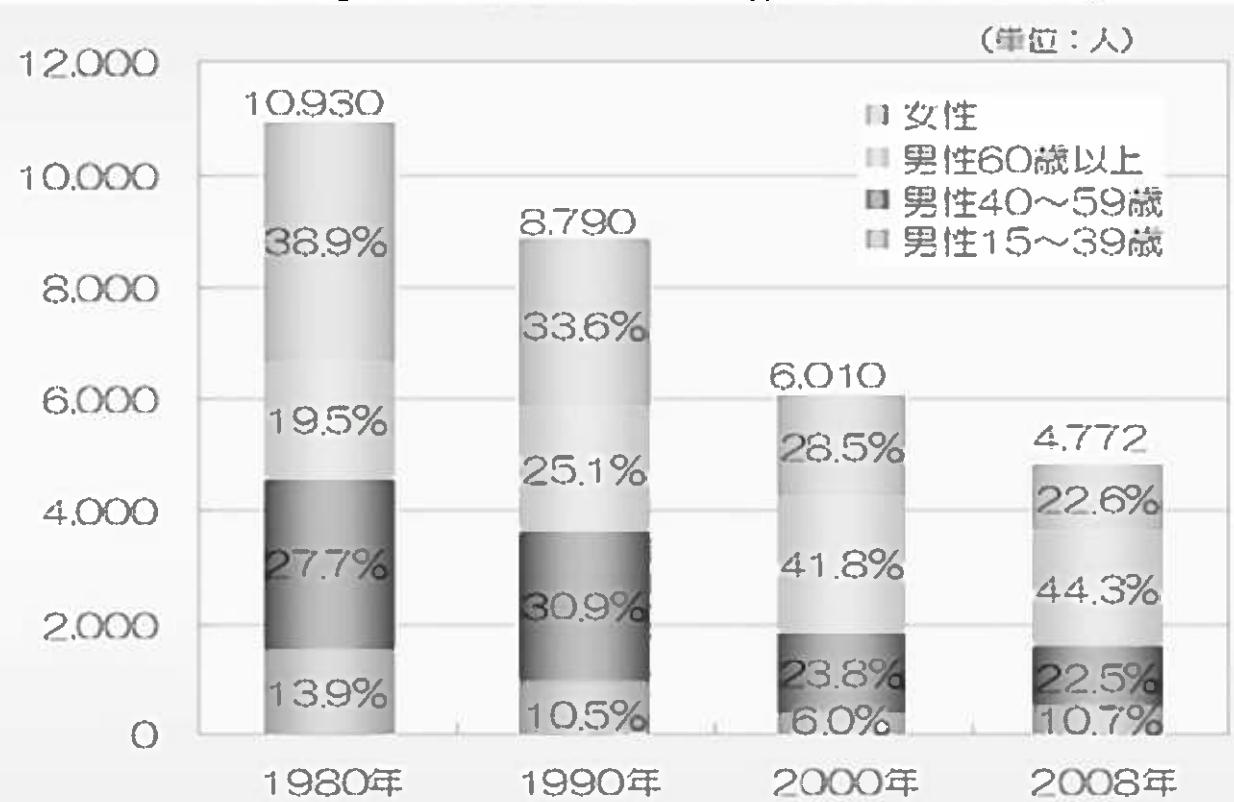
<戦後期> <高度成長期> <グローバル化>

- ・白砂青松→埋め立て、架橋→藻場、干潟再生
- ・豊饒の海→赤潮の海・富栄養化→貧栄養
- ・漁業全盛→養殖、放流、乱獲→漁業者減少

■瀬戸内海における海面漁業による漁獲量の変遷



広島県の漁業者の構成(県作成)



里海とエコツーリズム

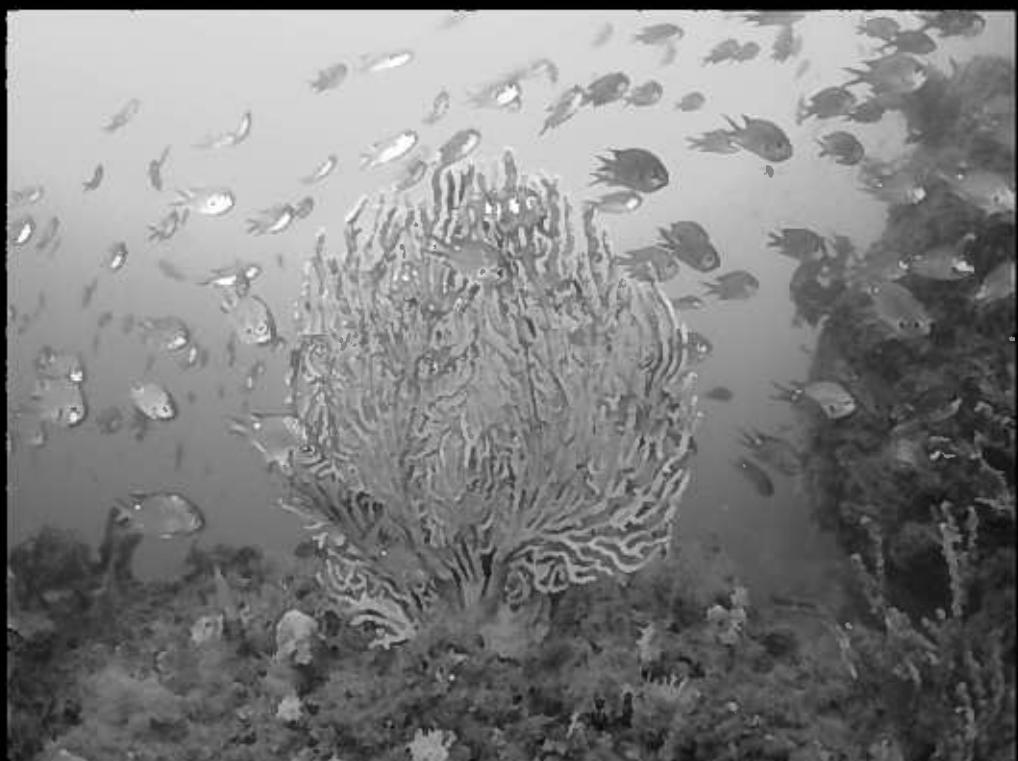
- ・海離れ→海に関心
- ・里海→漁業、風土、歴史へのまなざしも
- ・地域→地元が潤う工夫を
- ・成熟時代のツーリズム→システムづくり

瀬戸内海海域国立公園での 環境活動を通してエコツーリズム活動と活性化

NPO法人 自然と釣りのネットワーク
〃 海業研究会 藤本正明







世界最大の広さの群落



1 ニホンアワサンゴを通しての活動と今後の課題

① ニホンアワサンゴを通しての活動

水中カメラ撮影によるモニタリング
水中展望船
ダイビング
シュノーケリング
カヤック&シュノーケリング

② 今後の課題

どのようにアワサンゴを見せるか(方法)
小回りのきくエコツアー(船)
コーディネーター、ガイドの育成
シナリオづくり



2 環境教育とエコツーリズムの役割

環境教育とは

環境や環境問題に対する興味・関心を高め、
必要な知識・技術・態度を獲得すること

3 生物多様性とエコツーリズム活動の寄与

2011年「海洋生物多様性保全戦略」

自然を感じ自然景観の中に存在する
生態系や生物多様性の存在を認識する「生態
系景観」を体感し、評価し、そして自然環境を
保護していく活動が必要である

4 エコツーリズム推進のための施設整備と運用

① 施設整備

ビジターセンター
エコマップ
ガイドブック
ルールなどの標識
トイレ
駐車場 など

② 運用

運営費
インタープリター(自然案内人)の育成
地域の人々との連携





第3回エコツーリズムフォーラム2014 講演集 平成26年3月8日

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会

【構成メンバー：広島県、呉市、廿日市市、（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会】

後援：環境省中国四国地方環境事務所、EPO ちゅうごく（環境省 中国環境パートナーシップオフィス）、中国経済連合会、NPO 法人日本エコツーリズム協会、一般社団法人日本旅行業協会、中国新聞社、学校法人鶴学園広島工業大学、学校法人ひらた学園 IWAD 環境福祉専門学校

協力：NPO 法人自然環境ネットワーク SAREN、NPO 法人自然と釣りのネットワーク、ひろでん中国新聞旅行株式会社、株式会社近畿日本ツーリスト中国四国、株式会社グローバルコスモ



瀬戸内ツーリズム推進協議会
【構成メンバー： 広島県、呉市、廿日市市、
（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会】
<http://setonaikai-ecotourism.jimdo.com/>
〒734-0013 広島県広島市南区出島1-11-14
TEL : 082-259-3371 FAX : 082-259-3372